



Jasper Williams High School

フィジー中高留学ガイド 2018

Ba Provincial Free Bird Institute



数字で見るフィジー中高留学

入学申込実績

8年間 **1156**名

過去7年間で中学生が入学申込をした実績です。2010年より、現地の中学・高校へ日本人留学生を受け入れるプログラムを実施しています。

留学費用(年間) (学費・滞在費・食費込)

138.7万円

留学費用は、1年間138.7万円～です。欧米留学の1/3の留学費用でフィジー中高留学が実現しました。

留学費用(1学期) (学費・滞在費・食費込)

48.9万円(平均)

留学の期間は1学期間からご渡航頂けます。留学の種類は1学期間～卒業留学など様々です。

体験留学費用(2週間) (学費・滞在費・食費込)

9.1万円

渡航される方が最も多い、2週間の留学費用は9.1万円です。期間は1週間～11週間までお選び頂けます。

学納金

| 学年 | 1学期 | | | | | 2学期 | | | | 3学期 | | | | 年次別総計 |
|----------------|--------|---------|---------|--------|----------------|---------|---------|--------|----------------|---------|---------|--------|----------------|-------------------|
| | 手数料 | 授業料 | 滞在費 | 指導費 | 学期合計 | 授業料 | 滞在費 | 指導費 | 学期合計 | 授業料 | 滞在費 | 指導費 | 学期合計 | |
| Year9 (中学3年生) | 80,000 | 175,000 | 203,000 | 75,000 | 533,000 | 175,000 | 196,000 | 75,000 | 446,000 | 175,000 | 245,000 | 75,000 | 495,000 | 1,474,000円 |
| Year10 (高校1年生) | 80,000 | 175,000 | 196,000 | 75,000 | 526,000 | 175,000 | 196,000 | 75,000 | 446,000 | 175,000 | 245,000 | 75,000 | 495,000 | 1,467,000円 |
| Year11 (高校2年生) | 80,000 | 175,000 | 196,000 | 75,000 | 526,000 | 175,000 | 196,000 | 75,000 | 446,000 | 175,000 | 245,000 | 75,000 | 495,000 | 1,467,000円 |
| Year12 (高校3年生) | 80,000 | 175,000 | 196,000 | 75,000 | 526,000 | 175,000 | 196,000 | 75,000 | 446,000 | 175,000 | 157,500 | 75,000 | 407,500 | 1,379,500円 |

※為替相場が著しく変動した場合、その他本校で管理できない事由により、学費は変動する場合があります。
※国内移動費、航空券/燃油諸税、海外旅行保険代、現地小遣い、ビザ申請費用などは含まれません。

様々な補助制度

日本政府奨学金

教育のために必要な資金を融資する公的な制度です。入学時や在学中の費用として、利用できます。

日本政策金融公庫教育ローン

<https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>

地方自治体奨学金

文部科学省では、高校生の留学促進事業を行っており、原則1年間、外国の正規の中等教育機関(高等学校等)に通う高校生を対象に、留学経費の一部を都道府県を通じて支援しています。各都道府県の担当窓口へお問い合わせください。

金融機関教育ローン

各金融機関が用意している教育目的のためのローンで、子どもの高校や大学進学のための資金として保護者が借りるのが一般的です。

三菱東京UFJ銀行教育ローン

<http://www.bk.mufg.jp/kariru/kyouiku/>

三井住友銀行教育ローン

<http://www.smbc.co.jp/kojin/kyouiku/index.html>

みずほ銀行教育ローン

<http://www.mizuho-bank.co.jp/loan/education/index.html>

日本の中学校・高等学校と提携

現在、本校では緑ヶ丘女子中学校・高等学校(神奈川)、鹿島学園高等学校(茨城)と連携を強め、グローバル社会で活躍できる人材育成に貢献しています。



Contents

はじめに

- P.4 中高留学の価値
- P.5 学生が感じた“中高留学”
- P.6 多様な留学先と特徴
- P.7 海外の治安と留学

フィジー情報

- P.8 発展途上国とその中のフィジー
- P.9 フィジーってどんな国?
- P.10 フィジー中高留学の価値
- P.11 学生が感じた“フィジー中高留学”
- P.13 フィジー共和国基本情報
- P.14 フィジーの教育制度

学校情報

- P.16 Ba Provincial Free Bird Institute
- P.17 バプロの教育プログラム
- P.18 Jasper Williams High School
- P.19 ジャスパの教育プログラム
- P.20 フィジー留学の教育プログラム概要
- P.21 ローカルクラスの特徴
- P.22 ESLクラス
- P.24 留学で広がる進路の選択肢
- P.26 体験留学(下見留学)
- P.28 フィジー中高留学の体制

生活情報・その他

- P.30 保護者の皆様からのメッセージ
- P.32 異文化を肌で感じるホームステイ滞在
- P.34 ラウトカタウンMAP
- P.36 放課後・休日の過ごし方
- P.38 申込概要

中高留学の価値

中高生で親元を離れる留学は心配。できれば大学生ぐらいからの留学を考えると考える方も少なくありませんが、中高生の今だからこそ、留学にチャレンジする価値があります。

1 異なる環境で将来を考える

日本だと当たり前のように乗ることになる「大学受験へのレール」。本当に学びたいものが分からないのに漠然と受験を目指すのが日本人的な教育の傾向です。まだ夢や目標が決まっていない人には、異なる環境に身を置くことで「大学受験のための高校時代」ではなく、「本当にやりたいことを見つける時間」にすることも大切です。

| 海外の高校 | 日本の高校 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ●日本とは異なる環境に身を置くことで、今まで出会うことのなかった刺激に触れる ●英語を使えるようになることで、活躍のフィールドを海外にも広げられる力を身に付けることができる | <p>CASE 1 夢や目標が明確な場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日本の高校教育を3年間受けることで、日本の受験で求められる学習内容を学校で学ぶことができる ●塾や予備校に通い、受験に必要なテクニックを学ぶことで受験対策をする <p>CASE 2 目標がまだ不明確な場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ●受験を意識した高校時代を過ごすも、自分が何を学びたいのかを考える時間を持つのが難しい ●明確な目標がないままの未来設計になることもある |
| <p>↓</p> <p>受験だけではなく、現在と将来の自分を見つめ、チャレンジする時間を過ごす</p> | <p>↓</p> <p>志望校合格やなりたい職業に就くための下準備となる高校時代を過ごせる</p> <p>↓</p> <p>本当にやりたいこと、学びたいことが不明確なまま進学先選びをする可能性も…</p> |

2 早期に英語力を身に付ける

高校時代に英語力を身に付けることで、活躍のフィールドを海外にも広げられ、大学では専門分野や第3言語を学ぶ時間に十分充てられます。また、海外の大学を目指す場合、大学入学のため/大学の授業を受けるための基礎力を付ける場ともなります。英語力を身に付けるための大学生活ではなく、英語力を自分の武器とし、より多くの専門分野、第3言語を学べる下積みの時代としましょう。



3 内面の成長を感じる

“親元を離れ、自らで決断し、やり遂げる” “数々の苦勞や困難に遭遇し、乗り越える” こういった経験をすることで、自立心、感謝の心、自信、他を受け入れる心、大きな視野で物事を考える力など、これからの社会を生き抜く上で必要となる力を確立していくことで、特に日本や先進国とは異なる途上国で過ごす時間を通じて、異なる文化・価値観を受け入れ、いかなるものにも動じないたくましい力を育むことができます。自身で決めた留学期間をやり抜くことで、“忍耐力” “定めたゴールを達成する力” も感じる事ができるでしょう。

学生が感じた“中高留学”

実際に海外での高校生活を経験した学生のみなさんに、彼らが得たものを教えてもらいました。みなさんが求める成長は、海外でこそ得られるものもあるのではないのでしょうか。

高校時代に留学をして良かったと感じるのは、日本の高校では文法ガチガチの英語が頭についてしまって、話し出すにもいちいち考えるようになってく中で、海外だと普段話しながら覚えていくため、英語を吸収しやすいところ。日本の高校で文法を固められてしまっていない分、覚えやすいです。頭が柔らかい内に英語に触れているので、単語を頑張らなくていい感じになりました。日本でも英語は学べるとは思いますが、日本でいつも90点~100点取れていても、実際には英語で会話することはできないと思います。発音を通じなかったりとか。英語を話せるようになって、めっちゃ楽しいです。



高校留学をして良かったと本当に思っています。英語力をつけたことで、「自分は英語を話せる」という自信ができました。また、外から日本を見たことで、日本の素晴らしさを再確認しました。日本って本当にすごい国なんだと感じ、そんな日本のために働きたいと考えるようになりました。現在の夢は公務員なのですが、それは安定しているからとかではなく、自分が好きだと改めて感じた日本という国に貢献したいと、海外経験を通じて感じたからです。

留学を通して自分が一番成長できたと思うことは、もし日本の高校にいたら一生関わることのなかった人達と出会い、視野が広がったと思うところ。視野が広がり、自分がいかに恵まれているか、いかにチャンスが与えられているか知ることができた。英語力は、イギリスのBBCやアメリカのCNNの放送を見ていて要点が分かるくらいにはリスニング力・理解力が共にあがった。洋書も、辞書を片手に読めば文法などで困難を感じることはなくなった。



多様な留学先と特徴

他国と比較したフィジー中高留学の特徴とは？
教育制度、風土、生活、費用などを比較してみましょう。

| 国名 | 特徴 | 費用 | 英語力 |
|---|--|-------------------------------|---------------|
|  フィジー | 「世界一フレンドリーな国民性」と言われるフィジー人。3歳からバイリンガル教育を受け、英語は第二言語でありながら国の公用語として使用しています。英語初心者や、シャイな日本人でも英語を使う機会が多い国として人気です。 | 年 138.7 万円 (184万円～) | 英検3級程度 |
|  アメリカ | 公立高校への留学は原則として認められていないため、私立の高校に入学することになります。ある程度の英語力を求められるものの、自己主張を大切にする環境の中で、積極的に切磋琢磨しながら学びたい学生に人気です。 | 年 270 万円～ (370万円～) | 英検準2級以上 |
|  カナダ | 英語とフランス語を公用語として2言語の教育が行われています。成績評価は厳しく、出席率や授業態度も評価の対象になります。学習意欲のない学生に対しては厳しい措置が下されることもあります。 | 年 235 万円～ (295万円～) | 英検準2級以上 |
|  オーストラリア | 地域クラブ活動が盛んで、留学生も参加することが可能です。卒業資格の統一試験の結果によって進級できる大学が決まってきます。自然が好きな学生に人気です。 | 年 225 万円～ (285万円～) | 英検準2級以上 |
|  ニュージーランド | 芸術科目や体育なども単位に含まれるため、一般的な科目(数学/理科/社会など)の履修を必要としない学生に人気。カリキュラムが自由に選べる分、自分でコントロールしないと学力が下がる可能性あり。 | 年 250 万円～ (310万円～) | 英検準2級以上 |
|  マレーシア | 一般的な高校への留学は主流ではなく、インターナショナルスクールへの留学が多いです。インターナショナルスクールは国際色豊かで、すでに高い英語力を持った学生が集まるため、難易度が高い傾向あり。 | 年 200 万円～ (230万円～) | 英検2級以上 |

留学の種類

| | | |
|-------------|-------------|------------------------------|
| 短期留学 | 1週間～ | 春休みや夏休みを利用した短期留学が一般的。 |
| 交換留学 | 1学期(4ヵ月)～1年 | 留学扱い。帰国後は単位認定を受け進級する。 |
| 休学留学 | 1学期(4ヵ月)～1年 | 休学扱い。帰国後は留学前に在籍していた学年から開始する。 |
| 卒業留学 | 1年～4年 | 途中からの編入も可能で海外の高校を卒業する。 |

海外の治安と留学

どこの国に留学をしても、海外で安全に暮らすためには、自分が海外にいることを自覚し、緊張感を持つことが大切です。海外と日本では、意識すべきことが大きく異なることを知しましょう。

海外の治安

日本では普通にできてしまう行動も、海外では危険な場合が多いです。例えば、バスや電車での居眠りはすり・ひったくりに遭う危険性が高いため、海外では決してしてはいけない行動です。また、日が暮れてからの外出などは、海外では特に控えましょう。深夜でも活気があり安全な日本とは異なり、海外では「夜は犯罪に巻き込まれる時間帯」と地元の人でも注意して日々生活しています。

フィジーの治安

フィジーは銃社会ではなく、また、現状、武装勢力やテロ活動も確認されていない国です。しかし、フィジーは日本に比べて物価が安い国ということもあり、日本にいるときと同じような感覚で貴重品(スマートフォンやゲーム機)やお金を持ち歩いていると、すり・ひったくりや置き引きなどの犯罪に巻き込まれる可能性が高くなります。その国の生活習慣や金銭感覚に合わせて生活していくことが非常に大切です。暗くなってからの外出や貴重品の管理には十分に注意をしましょう。
(参考:外務省海外安全ページ 2017年11月現在)

「海外に行く」＝
「日本の常識を捨てる」
という意識が
安全のためには大切なね。



GOOD! 海外でのGOODな行動と NG!! NGな行動(例)

- | | |
|----------------------------|---|
| ● 現地の人と同じような生活を心がける | ● 日本と同じ感覚で、「安全で当たり前」と思って生活する |
| ● ブランド物や高価な電子機器は持ち歩かない | ● 現地の人との格差を感じさせる言動をする (iphoneを見せつけるなど) |
| ● 普段は必要最低限の貴重品のみ持ち歩く | ● 貴重品をポケットに入れて移動する |
| ● 暗くなったら安心できる移動手段を利用して帰宅する | ● カバンやリュックを開けたまま(チャックやフタをせずに)持ち歩く |

日本の常識は「海外の非常識」!?

海外から日本に来た観光客がみんな驚くのが「日本の治安の良さ」。慣れてしまっている日本人の私たちから見ると当たり前なことであるが、やはり世界の中で日本という国はかなり特殊だと言える。

外国人が日本で驚くこと

- 夜でも女性が1人で犬の散歩をしている
- 自動販売機など、お金が入っている機械が道端にたくさん置かれている。自分の国だったら盗まれている!
- カフェでスマホを置いたままでおしゃべりしている。盗まれる心配をみんなしていないことに驚く。

邦人援護件数の多い内容

海外に出た日本人から外務省への問い合わせ・相談の内容の約半分が窃盗や物の紛失という貴重品トラブル。日本ではつい甘くなりがちで貴重品管理の徹底が必要。
1位:窃盗被害 2位:所在調査 3位:遺失・拾得物(落し物や物の紛失)
(参考:外務省海外安全ページ 2017年11月現在)

発展途上国とその中のフィジー

みなさんの多くが生まれ育ってきた“日本=先進国”。
普段はなかなか考える機会の少ない“日本以外の国=発展途上国”。
少し外を見渡すと、実は世界で先進国と呼ばれる国はほんの一握りなのです。

先進国と発展途上国

みなさんは、先進国と発展途上国が世界でどれくらいの割合を占めているか知っていますか？

日本を含めた先進国は実は世界の20%。
残りの80%は発展途上国。

日頃よくニュースで耳にする、紛争問題、食糧問題、子供の教育問題などはそのほとんどが、8割の発展途上国で起こっている問題なのです。同時に、これから経済成長が期待される国もまた発展途上国。

発展途上国でこそその学び

情報があふれる社会である日本に住み、高度な教育を受けている私たちは、つい何でも知っているような気持ちになってしまいます。しかし発展途上国でだからこそ学べること、新しく見えてくるものは、意外と多くあるのです。

教育、環境、衛生、医療、福祉、観光…

実際に自分の目で見て、感じて、そこで生活することで机上の空論にとらわれず、世界の大多数を占める日本とは異なる環境に生きる人々の視点を含めて、物事をとらえられる力を養うことが出来るのです。

次にとって代わる国、代わられる国

2010年、中国はアメリカにつぐ世界第2位の経済大国になった。中国だけでなく、インド、ブラジル、ロシア、南アフリカなどの成長も目覚ましく、世界経済における新興国の役割が年々重要になってきている。一方、これまで世界経済を引っ張ってきたアメリカ、ヨーロッパ、日本の3極の先行きは不透明である。世界のヒト・モノ・カネの流れが変わっていくなか、次にくる国はどこなのか。

いま、企業が求める人材とは…

語学力や海外経験があるから活躍できるとは限らない。物怖じしないコミュニケーション力とどこにでも飛び込んでいける度胸が重要である。様々な国・人種を考え方を受け入れ、融合していけるセンスやスキルを持つ人が欲しい。そのため日本人でも、さまざまな角度から異文化体験の中身を聞いて見極めている。もちろん語学力があるにこしたことはないが、それ以上に求められるのは現地(海外)に行っても仕事ができるかどうかだ。

引用元: PRESIDENT Online
「仕事人×生活人」の為の問題解決塾(2015年3月11日 溝上憲文=文)

フィジーってどんな国？

ハネムーンやビーチリゾートなど観光で有名な国、フィジー。
しかし、まだまだ知られていないフィジーの特徴を皆さんにお伝えします。

1 幸福度指数No.1!

純粋幸福度指数を測るスイスの世論調査会社によると、2017年度の調査では、フィジーの純粋幸福度が世界1位に輝きました。一方で、日本を含むG7の国で、世界平均値を越える国はありません。「日々幸せを感じる」と「経済的な豊かさ」は、もしかすると直接関係ないのかもしれませんが。※1



2 物価水準は世界の真ん中

フィジーの物価は日本の約1/3！つまりフィジーでは日本の貨幣価値が3倍の価値を持つということ。そんなフィジーの物価水準は、実は世界の真ん中なのです。※2 ※3

| 国 | 日本の物価水準 | フィジーの物価水準 | |
|---|---|-----------|--|
| | 1人あたりの名目GDP 38,917 US\$ (189ヶ国中22位) 時給 平均 798 円 | | 1人あたりの名目GDP 5,181 US\$ (189ヶ国中95位) 時給 平均 239 円 |

3 環境難民を受け入れる国

気候変動などが原因で生まれる「環境難民」の問題。2014年、フィジーの大統領がキリバスを訪問し、「キリバスの人たちの一部、もしくは全員がフィジーに移住する必要があるかもしれない。我々は困っている凜順に背を向けることはない」と公式に発言しました。一方、同じく海面上昇の危機にあるツバルは、オーストラリアとニュージーランドに、環境難民申請を拒否されています。フィジーのように、自国の経済だけに目を向けず、他社を受け入れ助け合う精神は、私たちが見習うべきところなのかもしれません。



※1 参考: WIN/Gallup International 2017年調査
※2 参考: IMF World Economic Outlook Databases
※3 参考: 厚生労働省/地域別最低賃金の全国平均、公益財団法人国際労働財団ホームページ

① フィジータイム

フィジーの人たちは今を大切に生きている。時間やお金に追われることのない生活。待ち合わせをしても予定通り来ない。先生のミーティングや授業でさえも遅れることがある。日本のように物事にきっちりしていない国だからこそ人間が本来持つ、自然なライフスタイルがフィジーにはある。



② ケレケレ～助け合いの精神～

ケレケレはフィジー語で、意味は「Please」。フィジーには相互扶助の文化があり家族間だけではなく、親族、地域、村一体となって共に助け合いながら生活している。お金がある人がない人に分け与え、物を共有する文化のもとに生活が成り立っている。フィジーでは発展途上国に珍しく、街でホームレスやストリートチルドレンをほとんど見ない。



③ インフラ・生活環境が不完全

水も電気もガスも使い放題の日本と比べ、フィジーは計画断水をしたり、たまに停電になったり。そのような経験を通して、本来の生きることの大変さを実感する。私たちが生きている日本は世界のスタンダードではなく世界には、限りある資源の中で工夫しながら生活している人々が数多くいる。世界を知ることに興味を持ち、正しく世界を知る機会にしてほしい。



④ 目上の人を敬う文化

フィジーでは、年長者や教師など、自分よりも目上の人を敬い、逆らうことはしない文化を持つ。そして、目上の人へ失礼な態度を取ることは非難される行動となる。日本では失われつつある文化だが、「郷に入るとは郷に従え」と言われるとおり、フィジーで過ごす学生は「フィジー流」を大切に守ってほしい。



フィジーあるある

フィジー中高留学の価値

中高生の多感な時期だからこそ、経験して欲しい留学があります。日本国内での学力向上だけにとらわれず、先進国とは違った経験から学ぶことができます。そんなフィジー中高留学が選ばれる理由は、3つです。

1 世界一フレンドリーな国民性

英語には自信がないけど、チャレンジしたい！という学生を応援します。

英語力を向上させる上で1番大切なのは「色々な人と英語を使って話す」ということ。英語力に自信がない人やシャイな日本人にとって、街中でも気軽に話しかけてくれるフィジー人は英会話学習の上で心強い友人となるでしょう。生きた会話から、英語力とコミュニケーション力を身に付けましょう。



2 費用

費用面で今まで留学を諦めていた学生を応援します。

South Pacific Free Birdの企業理念「より多くの人により多くの感動を。」を実現すべく、費用を最大限に抑えて留学できる学校づくりを行っています。兄弟姉妹減額制度を採用し、兄弟姉妹揃っての留学も応援しています。英語力が必要な時代だからこそ、より多くの人に生きた英語を学ぶ機会を提供し、国内外で活躍する人材育成に力を入れています。



3 留学中のフィジー窓口対応

入学後、卒業後も関わり続ける諸手続き。現地にいる日本人スタッフへ直接ご相談いただいています。

留学出発後は、フィジー現地にある学校サポートオフィスへ英語ではなく日本語で必要なお申し込み・各種書類発行などの手続きを行っていただけます。

様々な面で自立が求められる留學生活ですが、自分の力だけでは解決できない大きな問題にぶつかった時などは、学生から日本語で現地学校サポートスタッフへ相談することも可能です。

学生が感じた“フィジー中高留学”

フィジーという国で高校時代を過ごした学生達。日本とは異なる文化を持つ国での生活は、学生の人生にどのような影響を与えるのでしょうか。様々な葛藤を越え、得られる成長がそこにはあるはずですよ。

学生のみなさんの声

元々英語が好きだったので留学することに憧れていました。留学が決まった時は不安も多くありましたが、嬉しかったです。留学中、1番楽しいのはバスに乗って音楽を聴いている時です。風が気持ちよくて、乗りたいところ・降りたいところでバスが使えるのが楽というもあります。日本とは違い、運転手がフレンドリーだったり、乗客同士がすぐに仲良くなったり、そういう光景を見て「フィジーらしいな」とふと思い、笑っちゃいます。フィジーで出会った中で影響を受けた人は、ホームステイ先の家族です。私を含め7人家族と大人数ですが、全く文化も言葉も違う人たちと暮らすことができたのは、家族がみんな私という人間をいつも受け入れてくれていたお蔭だと思います。これから先、海外で出会う人々には私もそういう「他者を受け入れる姿勢」を大切にしていきたいです。



フィジーで出会った人で影響を受けたのは、ESLクラスの先生方。自分の、「発展途上国には先進的な考えを持った人がいない」という偏見に満ちた考え方を払拭してくれました。先進国であり、世界でもトップクラスに豊かな日本という国で生まれ育ったことを誇りに持ちすぎ、途上国で育ったフィジー人学生を下に見ているようでは英語力も海外経験も得られないと思います。先生方は自国の事を考え、それを取り巻く国際状況にも目を向けており、先生方から見た日本像は自分の将来設計に良い影響を与えてくれました。日本が恵まれていることに改めて気付くことができ、その日本に貢献したいと思うようになりました。フィジーの人々の政治への関心の高さから、対する日本人の関心の低さに気づき、その解決策を模索するために政治学科を志望するようになりました。



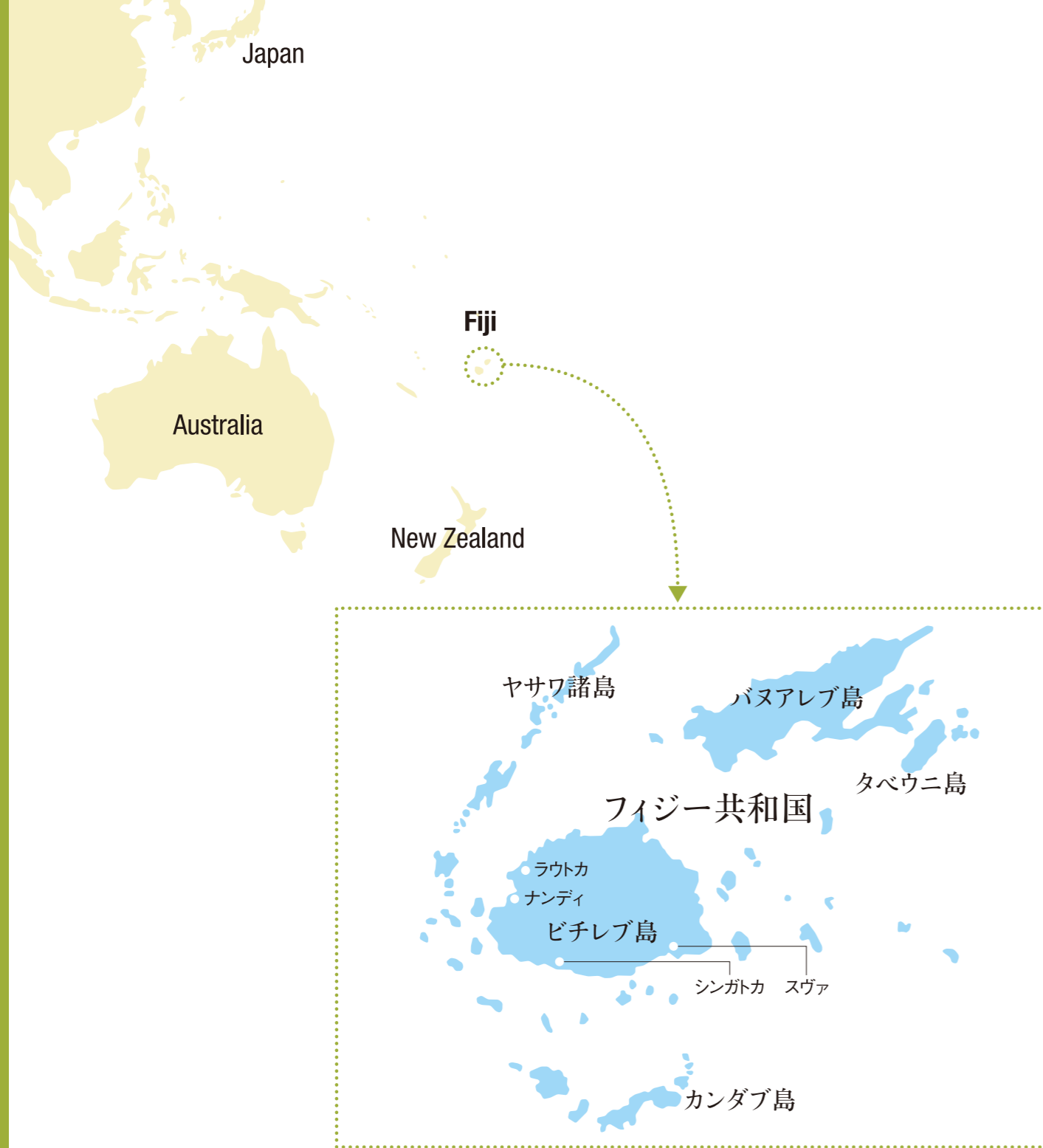
留学中苦労したのは、相手の文化を理解することです。フィジーでの高校留学を通して、忍耐力が付き、色々な考え方を理解できるようになりました。同級生は、色々な考え方を持っている人、自分を強く持っている人が多く、影響を受けました。フィジー中高留学には、考えが柔軟な人が向いていると思います。後輩へは、「気持ちを強く持ち続けてください」というメッセージを送りたいです。ここは発展途上の国です。そこを理解した上で生活してください。フィジー人は生活力があり、日本人にはまねできません。気楽に過ごすこと、深く考えすぎないことなどが学べる点だと思います。



フィジーで身に付いたサバイバル力と自立心のおかげで、どんな環境でも頑張ってやっていける自信がついたと思います。日本にいた時から人のお手伝いをするのは好きだったけれど、フィジーで助け合いの大切さ、思いやることを学べて、ますます人の役に立つ仕事に就きたくなりました。これから入学するみなさん。心が折れても、立ち上がって強くなってフィジアンみたいなBIGな心の持ち主になってください！色々なモノの見方、考え方があるから探してみても！

異国の地、フィジーを知る

フィジーってどんな国?



フィジー留学 豆知識

Q フィジーの水道水は飲めますか?

A フィジーの水は硬度が日本の水に近く、水道水も一般的に飲用できます。コラーゲンの生成を高めるシリカを多く含むのもフィジーの水の特徴です。ただし、環境に慣れないうちやお腹が弱い方はミネラルウォーターを飲むことをお勧めします。

Q 海は近くにありますか?

A ラウトカには港がありますが、泳ぐことはできません。しかし車で1時間程度離れたシンガトカや離島まで足を延ばすと、綺麗な海やリゾート地もあります。

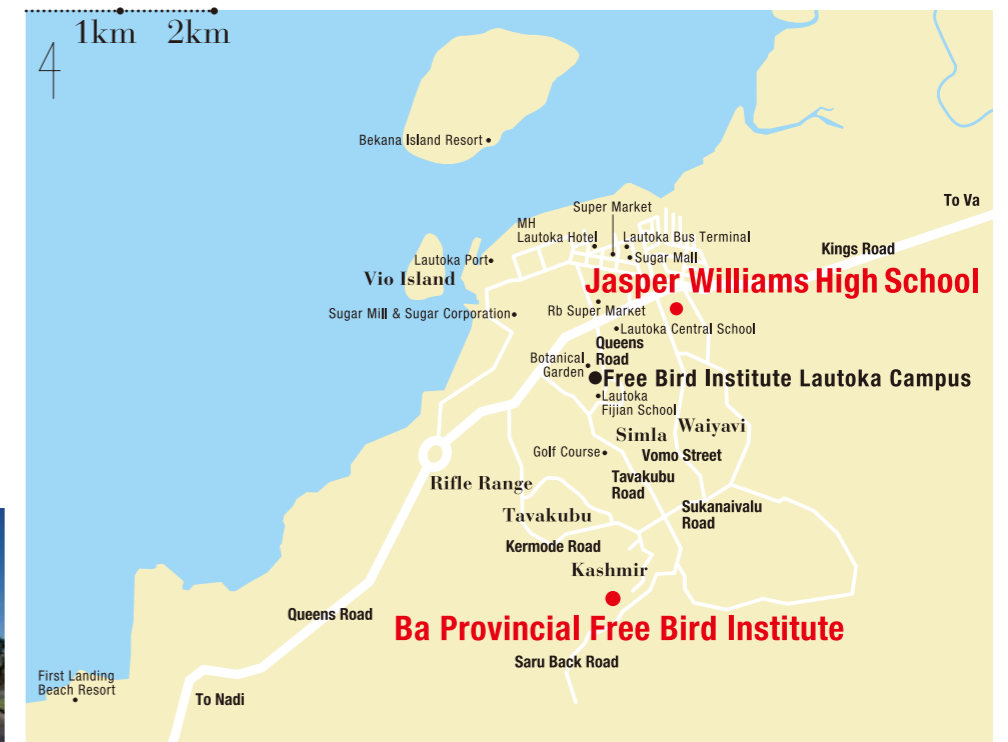
フィジー共和国基本情報

| | |
|------|---|
| 正式国名 | Republic of Fiji (フィジー共和国) 首都:スヴァ |
| 人口 | 333の島からなる、人口87万人(日本の四国と同規模) |
| 時差 | +3時間 ※DST(サマータイム期間中)は、+4時間 |
| 公用語 | 英語。ほかにフィジー語、ヒンディー語を母国語として使用 |
| 民族構成 | フィジー人/約54.3% インド人/約38.1%(正式には、インド系フィジー人) その他/約7.5% |
| 宗教 | キリスト教徒 52%(フィジー系住民に多い) ヒンドウ教 38%(インド系住民に多い) イスラム教 8%(インド系住民に多い) その他(2%) |
| 気候 | 年間を通して暖かく、月平均気温は23℃~28℃。雨季と乾季の区別があり、雨季は雨が集中的に降ることも稀にあります。ナンディやラウトカのあるヴィチレブ島西部は東部に比べて雨が比較的少なく、過ごしやすいです |
| 通貨 | フィジドル(FJ\$) 1FJ\$=50~55円(2017年11月) |
| 物価 | コーラ1缶1~2F\$ 食パン/0.7F\$ カレーライス3.0F\$ バス通学の交通費/0.7F\$(学生の場合) ※あくまでも一例です。 |

Lautoka

ラウトカ

フィジー第二の街ラウトカは、規模的にはナンディよりも大きいです。サトウキビの精製が盛んで、地元の漁師たちの漁港としても栄えています。多くの旅行者が滞在するナンディと比べると、より地元の人たちの生活に根ざしたお店が多いことに気が付きます。本校もこのラウトカに位置しています。



Nandi

ナンディ

フィジーを訪れる海外からの旅行者の多くが立ち寄るのが、国際空港のあるナンディです。フィジー第三の街として栄え、平日でも街の中心地は賑わいを見せています。旅行者向けのお土産物屋さんや、ショッピングモールなどのほか、ホテルやレストランなどの宿泊施設も整っています。



フィジーの教育制度

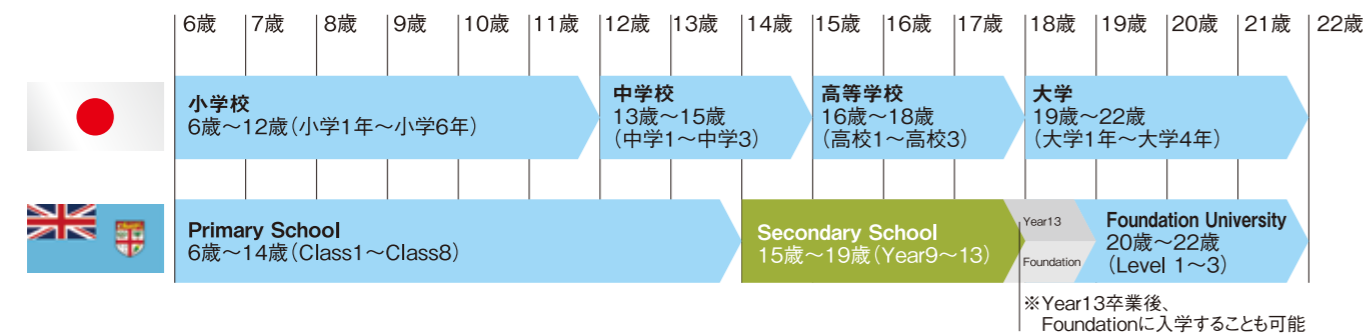
日本とは異なる、フィジーの教育制度。
留学生はフィジーの教育制度に基づいて学習していきます。

フィジーの教育制度概要

フィジーの学校年度は毎年1月から始まり12月に卒業を迎える期間が一学年で、年度内3学期制を採用しています。
フィジーの高校を卒業すると、日本の高校を卒業することと同様に、大学で日本の大学進学や海外の大学進学が基本的に可能となります。

| | |
|---------|---|
| 学校制度 | Primary8年 (Year1~8)、Secondary5年 (Year9~13)、Tertiary3年 (Level1~3) secondaryにてYear13を選択しなかった者は、大学で教養課程 (Foundation) から始める。 |
| 新学期開始時期 | 1月 |
| 学期制 | 3学期制 |
| 使用言語 | すべて英語で統一されている。 |
| 大学進学率 | Secondary Schoolから大学、高等専門学校への進学率はおよそ6割 (2015年11月現在)。 |

学校制度の違い



留学生の受入れと入学資格

本校での日本人留学生の受入れは、Year9 (日本の中学3年生) からYear12 (日本の高校3年生) までです。
受入校によって募集状況が異なりますので、入学できる学年や学期は異なります。

| 学年 | 入学を希望する学期 | 入学に必要な日本国内の学校における在籍期間と成績 | 入学対象年齢 |
|-----------------------|-----------|--------------------------|--------|
| Year 9 (日本の中学3年生) | 1(1月~4月) | 中学2年生の12月までの在籍/成績証明 | 17歳以下 |
| | 2(5月~8月) | 中学2年生の3月までの在籍/成績証明 | |
| | 3(9月~12月) | 中学3年生の8月までの在籍/成績証明 | |
| Year 10 (日本の高校1年生) | 1(1月~4月) | 中学3年生の12月までの在籍/成績証明 | 18歳以下 |
| | 2(5月~8月) | 中学3年生の3月までの在籍/成績証明 | |
| | 3(9月~12月) | 高校1年生の8月までの在籍/成績証明 | |
| Year 11 (日本の高校2年生) | 1(1月~4月) | 高校1年生の12月までの在籍/成績証明 | 19歳以下 |
| | 2(5月~8月) | 高校1年生の3月までの在籍/成績証明 | |
| | 3(9月~12月) | 高校2年生の8月までの在籍/成績証明 | |
| Year 12 (日本の高校3年生) | 1(1月~4月) | 高校2年生の12月までの在籍/成績証明 | 20歳以下 |
| | 2(5月~8月) | 高校2年生の3月までの在籍/成績証明 | |
| | 3(9月~12月) | 高校3年生の8月までの在籍/成績証明 | |

年間スケジュール

| 年 | 学期 | 開始日 | 終了日 | 週間数 |
|-------|-----|----------|-----------|------|
| 2018年 | 1学期 | 1月16日(火) | 4月20日(金) | 14週間 |
| | 2学期 | 5月8日(火) | 8月10日(金) | 14週間 |
| | 3学期 | 8月28日(火) | 11月23日(金) | 13週間 |
| 2019年 | 1学期 | 1月15日(火) | 4月19日(金) | 14週間 |
| | 2学期 | 5月7日(火) | 8月9日(金) | 14週間 |
| | 3学期 | 8月27日(火) | 11月22日(金) | 13週間 |
| 2020年 | 1学期 | 1月14日(火) | 4月17日(金) | 14週間 |
| | 2学期 | 5月5日(火) | 8月7日(金) | 14週間 |
| | 3学期 | 8月25日(火) | 11月20日(金) | 13週間 |

上記スケジュールは2017年11月時点のもので、フィジー教育省、その他の都合により変更の可能性がります

求める学生像

本校では、様々な分野で活躍していける資質を持った学生を迎え入れます。
以下のような学生の選抜に努めています。

1. 英語で勉強する強い意志を持つ者
2. 発展途上国のフィジー共和国において学ぶ目的意識・目標を持つ者
3. 海外高校に入学するために最低限必要な基礎学力・英語力が身につけている者
4. 基本的なルールを受入れることが出来、異なった生活・文化・習慣を受入れることが出来る者
5. 保護者がフィジー共和国の高校に行かせる意義を理解し、学校とともに教育していく覚悟がある者

留学を成功させるための秘訣

- 留学を決めたら最後までやり通す、自分で留学を成功させる覚悟を持つ
- 「留学に行けば、英語が話せるようになる」の幻想を捨て、努力が必須になることを自覚する
- 日本人同士で固まらず、フィジーの学生に気の合う友人を見つけるようにする
- 日本ではあり得ない!と思うことは日常茶飯事。違いを楽しむ
- 物事に対して不満を述べるのではなく、解決するにはどうしたらいいかを考えるクセをつける

交換留学 (留学扱いの場合) を目指す方へ

フィジーの高校は日本の高校のような「単位制」を採用しておらず、「週あたりのレッスン数」によってカリキュラムが作られています。日本の高校との単位交換が可能かどうかを確認するには、事前に学校に確認する必要があります。詳細はお問い合わせください。
※学校によって判断基準は異なります
※確認の際にはP17、P19の学校ごとの時間割・カリキュラム一覧及びP14「年間スケジュール」をご参照ください




Ba Provincial Free Bird Institute

フィジーの学校で学び、フィジーの学生と学ぶ。Ba Provincial Free Bird Instituteはフィジー政府と当社が、共同で運営を行っているフィジーの公立高校です。

共同運営の背景

私たちSouth Pacific Free Bird は、1973年に設立された現地の公立高校「Ba Provincial Free Bird Institute」の共同運営を、2010年9月より開始しています。これは、2004年からフィジーにて語学学校を設立し、フィジー社会に貢献してきた実績が評価され、実現したものです。

学校基本情報

| | | |
|---|---------|---|
|  | 住所(私書箱) | Saru, Lautoka City, Fiji (P.O.Box 620, Lautoka, Fiji) |
| | 電話番号 | +679-666-2778 |
| | ロケーション | ラウトカ市郊外の高台に位置 |
| | 創立年 | 1973年にフィジー政府が設立 |
| | 学年 | Year9~Year13(日本の中学3年~大学1年に相当)の5学年/18クラス+職業訓練2クラス ※日本人留学生の募集はYear9~Year12まで |
| | 学生数 | 約500~600名 ※日本人留学生率は全校生徒数の約2~3割 |

School Vision

スクールビジョン

To achieve excellence and nurture learning for life through integration of academic, technical and human values so that students can become productive, responsible and competent person.

能力を有し、豊かで、信頼できる人間性を持った学生を育てるため、アカデミック面、技術面、また信念や信条を構築していくための総合的な教育を目標としています。

School Values

スクールバリュー

Goodwill and respect for self, others irrespective of ethnic, gender and religious background Faithful and trustworthy student with a lot of tolerance and compassion for others Having dignity, understanding, and love for others

民族、宗教、差別に関係なく、自分自身も他者も尊重する寛大で慈悲の心を持ち、他者に親切で誠実である理解する気持ちと尊厳を持ち、他者を愛する



バプロの教育プログラム

時間割(月曜日~金曜日)

8時から16時まで学校に通い、授業を受けます。

2017年10月現在

| 時間 | 授業内容 |
|---------------|---|
| 8:00 → 8:30 | Devotion, Form Time, Flag Raising 朝のお祈り、出欠確認、国旗掲揚 |
| 8:30 → 9:20 | Period 1 1時間目 |
| 9:20 → 10:10 | Period 2 2時間目 |
| 10:10 → 11:00 | Period 3 3時間目 |
| 11:00 → 11:20 | Recess 休み時間 |
| 11:20 → 12:10 | Period 4 4時間目 |
| 12:10 → 13:00 | Period 5 5時間目 |
| 13:00 → 13:35 | Lunch 昼食 |
| 13:35 → 13:50 | DEAP, Afternoon Registration 午後のお祈り、出欠確認 |
| 13:50 → 14:40 | Period 6 6時間目 |
| 14:40 → 15:30 | Period 7 7時間目 |
| 15:30 → 15:45 | Duties 清掃 |
| 15:50 → 15:55 | Busline 終礼 |
| 16:00 | Departure 解散 |

※フィジー教育省その他の都合により変更される可能性があります。



カリキュラム一覧

必須科目は、必ず受講する科目です。

| 学年 | 英語科目名 | 日本語科目名 | レッスン数/週 |
|-----------------------|-------------------------|----------|---------|
| Year 9-10 | English | 英語 | 4 |
| | Mathematics | 数学 | 4 |
| | Basic Science | 理科 | 4 |
| | Commercial Studies | 商学 | 4 |
| | Social Science | 社会 | 4 |
| | Physical Education | 体育 | 1 |
| | Art&Craft&Music | 美術&工作&音楽 | 1 |
| | Family Life | ファミリーライフ | 1 |
| | AS:Agricultural Studies | 農業 | 4 |
| | FJ:Fijian Language | フィジー語 | 3 |
| HE:Home Economics | 家庭科 | 3 | |
| BT:Basic Technology | 技術 | 3 | |
| OT:Office Technology | オフィステクノロジー | 3 | |
| Year 11-12 | English | 英語 | 7 |
| | Mathematics | 数学 | 5 |
| | Physical Education | 体育 | 1 |
| | Career | キャリア | 1 |
| | Family Life | ファミリーライフ | 1 |
| | HIS:History | 歴史 | 5 |
| | PHY:Physics | 物理 | 5 |
| | ACC:Accounting | 会計 | 5 |
| | AG:Agriculture | 農業 | 5 |
| | HE:Home Economics | 家庭科 | 5 |
| | BIO:Biology | 生物 | 5 |
| | ECO:Economics | 経済 | 5 |
| | TD:Technical Drawing | 設計基礎 | 5 |
| | FJ:Fijian Language | フィジー語 | 5 |
| CH:Chemistry | 化学 | 5 | |
| GEO:Geography | 地理 | 5 | |
| AT:Applied Technology | 応用技術 | 5 | |
| CS:Computer Studies | コンピューター | 5 | |

※フィジー教育省その他の都合により変更される可能性があります。
※入学学年、入学時期によって選択できない科目があります。単位交換や進学などの理由で、必ず受講したい科目がある場合は、入学選考試験前にお問い合わせください。
※フィジー語はどの学生も選択できません。

ESLのレベルについて

レベル分け

入学時にテストを行い、個人の英語レベルに合ったクラスに振り分けされます

| | | |
|------|--------|------------------------------------|
| レベル1 | 初級レベル | 日常生活を送る上で必要な基礎英語力を身に付ける |
| レベル2 | 初中級レベル | 英語の基礎文法を定着させ、語彙力を強化する |
| レベル3 | 中級レベル | 身に付けた語彙や文法を使い、意思を表現する力をつける |
| レベル4 | 中上級レベル | ディスカッションやディベート等を通して総合的な英語力を培う |
| レベル5 | 上級レベル | ローカルクラスの内容を理解し、スムーズに授業に参加する力を身に付ける |

※体験留学生は2レベルの中で振り分けられます
※体験留学生向けのカリキュラムは必ずしも正規生と同様ではありません

Jasper Williams High School

Jasper Williams High Schoolは、ラウトカ市の中心地に位置するミッション系女子校です。フィジー政府が運営を行っている公立高校で、2017年5月より受入れを開始しました。

学校基本情報

| | |
|---------|--|
| 住所(私書箱) | 3 Wainunu Street, Lautoka, Fiji (P.O.Box 620, Lautoka, Fiji) |
| 電話番号 | +679-666-0014 |
| ロケーション | ラウトカ市の中心地に位置 |
| 創立年 | 1956年 |
| 学年 | Year9~Year13 (日本の中学3年~大学1年に相当)の5学年/19クラス ※日本人留学生の募集はYear9~Year12まで |
| 学生数 | 約850名 ※日本人留学生率は全校生徒数の約1割 |

School Mission

スクールミッション

That Jasper Williams High School consistently strive towards the nurturing and enabling environment that will facilitate the holistic growth of all students in all our school-physically mentally, socially and especially spiritual so as to produce God fearing young people fully equipped to serve God and our beloved nation.

本校では、神と愛する自国のため、物理的、精神的、社会的に教養のある全人的な若者を育成する教育と環境作りに努めます。

School Values

スクールバリュー

Education provision is based on Christian values and practices: Faith, Honesty, Fairness, Compassion, Responsibility, Respect for Truth & Justice and Sence of commitment to family & community.

キリスト教の価値観と実践を基にした教育理念:
信仰、誠実、平等、思いやり、責任、
真実と正義の尊重、家族と地域への貢献



ジャスパの教育プログラム

時間割(月曜日~金曜日)

8時から15時半まで学校に通い、授業を受けます。

2017年10月現在

| 時間 | 授業内容 |
|-------------|-------------------------------|
| 7:45→8:00 | Dear Programme 読書 |
| 8:00→8:20 | Devotion/Form Time 朝のお祈り/出欠確認 |
| 8:20→9:10 | Period 1 1時間目 |
| 9:10→10:00 | Period 2 2時間目 |
| 10:00→10:20 | Recess 休み時間 |
| 10:20→11:10 | Period 3 3時間目 |
| 11:10→12:00 | Period 4 4時間目 |
| 12:00→12:40 | Lunch 昼食 |
| 12:40→13:30 | Period 5 5時間目 |
| 13:30→14:20 | Period 6 6時間目 |
| 14:20→15:10 | Period 7 7時間目 |
| 15:10→15:25 | Duties 清掃 |
| 15:30 | Dispersal 解散 |

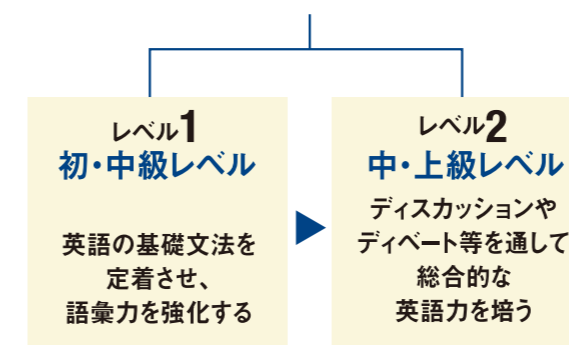
※フィジー教育省その他の都合により変更される可能性があります。



ESLのレベルについて

レベル分け

入学時にテストを行い、個人の英語レベルに合ったクラスに振り分けされます



カリキュラム一覧

必須科目は、必ず受講する科目です。

| 学年 | 英語科目名 | 日本語訳科目名 | レッスン数/週 | |
|-------------------|------------------------------|----------------------|--------------|-------------|
| Year 9-10 | English | 英語 | 5 | |
| | Mathematics | 数学 | 4 | |
| | Basic Science | 理科 | 3 | |
| | Commercial Studies | 商学 | 3 | |
| | Social Science | 社会 | 3 | |
| | Physical Education | 体育 | 1 | |
| | Family Life Education | ファミリーライフ | 1 | |
| | Art&Craft | 美術&工作 | 1 | |
| | Music | 音楽 | 1 | |
| | Christian Education | キリスト教学 | 1 | |
| | Library | 読書 | 1 | |
| | 選択科目 (Selective Subjects) | Home Economics | 家庭科 | 各3 (2教科) |
| | | Agricultural Studies | 農業 | |
| | | Office Technology | オフィス基礎 | |
| Vernacular | | フィジー語/ヒンディー語 | | |
| Year 11-12 | English | 英語 | 6 | |
| | Mathematics | 数学 | 5 | |
| | Physical Education | 体育 | 1 | |
| | Career/Family Life | キャリア/ファミリーライフ | 1 | |
| | Christian Education | キリスト教学 | 1 | |
| | Library | 読書 | 1 | |
| | 選択科目 (Selective Subjects) | Technical Drawing | 設計基礎 | 各5 (3科目) |
| | | Biology | 生物 | |
| | | Accounting | 会計 | |
| | | History | 歴史 | |
| | | Computer | コンピューター | |
| | | Chemistry | 化学 | |
| | | Vernacular | フィジー語/ヒンディー語 | |
| | | Economics | 経済 | |
| Home Economics | | 家庭科 | | |
| Physics | | 物理 | | |
| Agriculture | 農業 | | | |
| Geography | 地理 | | | |
| Office Technology | オフィス基礎 | | | |

※フィジー教育省、学校の都合により変更される可能性があります。

フィジー留学の教育プログラム概要

フィジー留学ではローカルクラス・ESLクラスの2つのプログラムを軸にした教育プログラムを提供。それぞれの概要をご紹介します。

Local Class

ローカルクラスの特徴

- 1.先生の板書と口頭説明が中心の授業スタイル
- 2.基礎に重点を置いた学習内容
- 3.授業で習った内容がそのままテストで試される



ESL Class

ESLクラスの特徴

- 1.英語初級者～中級者までレベル別での受講
- 2.高校カリキュラムと同時並行で受講
- 3.追加費用なしでの受講



授業外の活動

学校授業の他にも、+aの活動に参加できます。学生次第で様々な経験を作り出すことが可能です。

TOEIC模擬試験

— 公式テストに備えた準備 —

フィジー中高留学では、姉妹校にてTOEIC公開テストの実施をしています。留学生には、学期に1回程度の受験を推奨しています。定期的にテストを受験し、自分の実力を確認しながら目標達成を目指します。TOEIC公開テストの模擬試験を学期休暇中に学校にて受験することが可能です。

活動例①

JICAボランティア体験活動

— Koroipitaビレッジ —

コロイピタビレッジはMr.Peter Drysdaleによって創設された、貧しい家族やシングルマザーなどの家族が1日1ドルで生活出来る村です。Mr.Peter Drysdaleはインドの国民栄誉賞も受賞しています。本校の学生も不定期にボランティア体験をさせてもらっています。

活動例③

フェスティバル出場

フィジーのお祭りでは、移動遊園地や出店に加え、コンテストやダンスなどのステージパフォーマンスが行われます。ラウトカ市で行われるシュガーフェスティバルというお祭りでは、留学生の有志も毎年のようにステージパフォーマンスに参加しています。特に10代のミスコンテストでは、スピーチや特技の披露など様々なステージを経て、タレント賞を受賞した学生や優勝した学生もいます。

活動例②

孤児院へ絵本贈答

ナンディ市にある孤児院Treasure Houseには絵本がありません。気が付いた学生が、自発的に孤児院の子どもたちに絵本をプレゼントするボランティア活動を始めました。一般の絵本や学生達が作成したオリジナル絵本、カード等を寄付しています。また、子どもたちに本を読みかせる活動を計画しています。

活動例④

学期間プログラム

学期間の休暇は、学校がある期間にはなかなかできない活動を行う貴重な機会です。過去にはスポーツやフィジーの文化体験、TOEICの模擬試験などを行いました。英語の先生にうどんなの作り方を教えるなど、日本文化をフィジーの人々に伝える活動が行われたこともあります。自発的に企画したい活動がある場合は、スタッフと相談することも可能です。

活動例⑤



ローカルクラスの特徴

フィジーでは、基礎に重点を置いた学習内容で、確かな実力を身に付けることを教育方針としています。授業内容が分からないまま時間を過ごすのではなく、1つ1つきちんと理解し、次のステップへ進みましょう。



日本での学習・海外での学習

国や地域により、受ける教育内容は異なるため、海外の高校へ通った場合、日本の高校とは異なる学習をすることは当然です。例えば、日本では日本史の授業がありますがアメリカでは国史であるアメリカ史を学びます。また、学校で大切にしている教育方針にも違いがあります。日本や韓国のように、大学受験を大きなゴールとしている国では、基礎や定義を理解することよりも、受験テクニックや暗記を重要視することが多いと言われています。一方、

ドイツを代表とするヨーロッパ諸国では、即戦力として社会に出ることを目指した職業教育という道も、義務教育課程の後に一般的に用意されています。どんな環境で教育を受けるとしても、与えられた教育内容をきちんと理解し、吸収することができるような姿勢を取ることで、その後の大学進学時や社会に出たときも課題を乗り越える力を身に付けられるのではないのでしょうか。

フィジーでの学習

先生の板書と口頭説明が中心の授業スタイル

基本的に教科書は使用せず、先生がまとめる板書に則って授業が進みます。その場で、英語で説明される授業内容を理解することは最初の半年間は難しいはず。ノートをきちんと写し、和訳をしながら復習し、内容を理解することが必要となります。

基礎に重点を置いた学習内容

複雑な発展問題などはあまり重視せず、その単元で基礎となる内容をしっかりと理解することを重要視しています。いくら高度な教育を受けても、英語で習う授業が半分も理解できていないのでは意味がありません。着実に基礎力をつけ、その後の学びの土台としましょう。

授業で習った内容がそのままテストで試される

授業で先生が黒板にまとめた内容や、「ここは重要です」と強調した場所は基本的にそのままテストに出ます。普段の授業の参加と内容理解を頑張れば、比較的勉強についていけると言えるでしょう。

学生から学ぶ「授業の受け方のコツ」

「ノートを取ることを、フィジー人学生を頼ること!」 RYOTAさん



授業についていくために気を付けていることは、ノートをちゃんと取ること、先生が口頭で説明した内容もメモを取ることです。1学期目は授業内容が全く分かりませんでしたが、2学期目から理解できるようになりました。あとは、日本人でかたまって座らず、フィジー人学生の隣に座るようにしています。公式なども、日本で使うものとは違うことがあるので、分からない時はフィジー人学生に聞くようにしています。授業中、分からない単語があっても調べる時間が短くて大変なこともあります。時間が足りない時は休み時間に辞書を使って調べたり工夫しています。フィジーなので、授業が時間通りに始まらない・終わらないことも大変なことの1つです(笑) 普段ホームステイ先では1時間～2時間くらいの家庭学習ですが、テスト前の休日は1日中頑張ることもあります。日本人はフィジー人学生と比べるとただでさえ英語ができないので、とにかく自分で行動しないと何も始まらないです!

「日本との学校文化の違いに慣れよう!」 MANAさん



フィジーの授業では教科書を使わないことが多く、ノートを取る量が多いことが大変です。また、ケレケレ(※物の共有を当たり前と考える文化)も多いのでペンなどが戻ってこないことも大変です(笑) 日本のようにきっちり物事が決まっていないため、授業が進むスピードも日によって違います。次の授業で説明するから! と言って途中で終わらせた内容を、先生も忘れて結局説明してくれないこともあります(笑) 授業中に分からないところがあった際にはフィジー人学生や、先生に聞いたりしています。英語で授業を受けることが心配という人もいるかもしれませんが、電子辞書を使いまくってください! 今の電子辞書はとても便利で使いやすいですよ。テスト前は2週間くらい前から、毎日3時間～4時間くらい勉強をしています。経済のテストに出てくる単語はTOEICに出てくる単語とかぶることも結構あります!

ESLクラス

ローカル授業の内容から一部変更した留学生用の英語の授業です。

ESL授業の特徴

1 英語初級者～中級者まで、レベル別での受講

2004年より運営している語学学校(姉妹校)のノウハウを生かし、学生ごとに個人に合ったレベルで学ぶことが可能です。



2 高校カリキュラムと同時並行で受講

「高校に入学するための英語力」ではなく、実際の授業を受けていく中で必要となる英語を学ぶために、一般科目と同時並行で学びます。

3 追加費用なしでの受講

高校留学は入学前に約4か月～8か月の英語研修が必要な場合がほとんどです。通常、英語研修のため別途費用がかかりますが、フィジー留学では追加の授業料なしでESLを受講します。



ESLでの学習

ESLとは、英語が母国語ではない留学生に対して、「英語」という科目を受講しやすいようにローカル授業の内容から一部変更して作成されたカリキュラムです。留学を検討している学生は、留学にいったから英語を身に付けるのではなく、渡航前から基礎的な単語力やリスニング力を身に付けておきましょう。

ESLの受講

| | 正規留学生 | 体験留学生 |
|-------|-----------|--------|
| 通常授業 | 学校時間割に準ずる | 2コマ受講 |
| ESL | 英語の時間に受講 | 5コマ受講 |
| テスト期間 | テストを受験 | ESLを受講 |

※コマ数は2017年11月現在のものに変更の可能性があります。

在校生の英語力向上のステップ

留学期間を通して、実践的に使える日常会話力を身に付けることに加えて、英語資格を取得することで、大学受験の際や就職活動の際のアピールポイントを作ることが出来ます。英語力を測る基準として様々な場所で採用されている「TOEIC」や「TOEFL」試験にも積極的に挑戦しましょう。TOEICは本校より15分程度に位置する本校姉妹校「Free Bird Institute」(語学学校)で受験が可能です。英語力の伸びを試すために、少なくとも学期に1度の受験をおすすめしています。

歴代TOEICスコアランキング

| 学生 | 点数 | 学年 | スコア取得時の留学期間 |
|-----|-----|---------|-------------|
| Aさん | 910 | Year 12 | 1年3ヶ月 |
| Bさん | 880 | Year 11 | 1年5ヶ月 |
| C君 | 875 | Year 12 | 11ヶ月 |
| Dさん | 875 | Year 12 | 2年1ヶ月 |
| E君 | 845 | Year 12 | 10ヶ月 |
| Fさん | 830 | Year 12 | 1年9ヶ月 |
| G君 | 830 | Year 12 | 2年5ヶ月 |
| H君 | 805 | Year 12 | 1年2ヶ月 |
| Iさん | 805 | Year 12 | 2年1ヶ月 |
| J君 | 800 | Year 12 | 1年11ヶ月 |
| K君 | 800 | Year 11 | 1年 |
| Lさん | 790 | Year 12 | 2年2ヶ月 |
| M君 | 790 | Year 12 | 2年7ヶ月 |

2017年10月更新

在校生に聞いた「TOEIC得点を伸ばすメソッド」

TOEICのスコアUPを目指すにあたり必要なのは、とにかく対策!

- TOEIC過去問題集を繰り返し解き、分からなかった単語をまとめる(1年で365点→880点までUPした学生)
- 過去問題集を解くときは時間をはかって解く(留学2学期目で成績がクラス2位となった学生)
- 問題のパートごとに解き、解説を読む。文法、品詞を中心に覚える(留学2年目で成績がクラス2位となった学生)

英語力の伸びのイメージ

| | |
|---------|---|
| 到着時 | ● 挨拶で精一杯 ● 文法もあまりできなくて、不安な毎日 |
| 3～4か月目 | ● リスニング力が上がり、ホストファミリーや先生が言っていることを理解できるようになる ● 簡単な英会話ができるようになる |
| 6か月～1年目 | ● 英語の文章を日本語に変換せず、そのまま理解できるようになる ● シンプルな言葉ではあるが、自分の意見を伝えられるようになる |
| 1年目～3年目 | ● 内容によるが、テレビのニュースや映画の内容が理解できるようになる ● 簡単なジョークを交えた会話ができるようになる ● 政治やニュースなどについて議論できるようになる |

学生によってペースは異なるが、1年以内に基礎的な英会話力がつき、2年目以降に複雑な会話に対応できる力をつけられるようになるケースが多い!

日本企業が期待するTOEICスコア

この点数を1つの目安に、自分の目標点数を掲げよう!

- 新入社員 450～650
- 海外赴任 555～765
- 国際部門 655～865

引用元:「人材育成における英語に関する調査」(2014)
「TOEICテスト DATA&ANALYSIS」(2014)

色々な英語資格

自分の進路を見据え、必要な英語資格にチャレンジしましょう。

TOEFL
大学のキャンパスや教室といった実生活でのコミュニケーションに必要な、「読む」「聞く」「話す」「書く」の4つの技能を総合的に測定します。
こんな人に向いている
海外の大学進学を目指している人
フィジーでの受験可否
スバにてPBTのみ可能

IELTS
海外留学や研修のために英語力を証明する必要がある方が受験するテストです。イギリス、オーストラリア、カナダ、ニュージーランドのほとんどの高等教育機関で認められています。
こんな人に向いている
海外の大学進学を目指している人
フィジーでの受験可否
スバ、ナンディ、ラウトカ

SAT
アメリカ国内にある大学が、世界中どこからの受験生にも課す共通テストです。
こんな人に向いている
アメリカの大学進学を目指している人
フィジーでの受験可否
スバ

※コマ数は2017年11月現在のものに変更の可能性があります。

留学で広がる進路の選択肢

進路選びは夢を叶える為の第一歩。
後悔のないよう早めの進路設計をし、留学をより意義のあるものにしましょう。

留學生の受験

留學生の受験方法は実に多様です。英語力を活かした入試や、帰国生入試、AO入試、一般入試など、入試方法も様々です。受験の時期についても、留学中に一時帰国をして受験をする学生もいれば、帰国後に受験をする学生もいます。留學生の受験においてのポイントや、受験対策、進学実績、受験方式などを参考に、早めの進路対策を行っていきましょう。

1 「やりたいこと」をするためには「何を学ぶか」を考える

自分がなりたい将来像や理想の職業に就くためには、何を学ぶことが必要でしょうか。学ぶ場所は大学や専門学校など様々な選択肢があります。自分が求める将来にはどんな知識や経験が必要か事前に把握し、大学や専門学校などを選択することが大切です。

2 推薦入試は学びたいことを明確に持つことがポイント

推薦入試では、志望する学校・学部で何を学びたいかが問われます。学びたいことや、この大学だからこそ入学したい理由、そこで身に付けたい力を明確にすることが推薦入試で合格を勝ち取るポイントになります。留学中には、学びたい分野につながる活動をするように心がけましょう。

3 受験は現役合格だけではない

帰国子女は、受験時期のずれや受験対策の時間確保のために、必ずしも現役合格を目指すとは限りません。帰国後の一般入試や帰国生入試など、幅広く受験の選択肢を考えましょう。本校でも、帰国の翌年度に受験し、合格した学生もいます。

先輩の受験対策インタビュー

Q いつ頃から受験について考えていましたか？

A 志望校は高校入学当初から考えていました。留学を始めた高校2年生の秋には、「留学をするからには、英語力をしっかり伸ばして、その資格を活用して志望校を受験しよう」と決めていました。

Q 留学中はどのような生活を送っていましたか？

A 放課後は勉強をして過ごしていました。フィジーでの生活は時間がたくさんあります。日本のように部活もないので放課後の時間はすべて自分の時間です。日本にいた頃は、毎日ゲーム漬けの日々を送っており、学習の習慣がありませんでした。しかしフィジーではゲームをもっていかなかったため、渡航後は毎日4時間位勉強していました。また、英語力が上がってきたころに、ゴミ拾いのボランティアなど、フィジーでしかできない活動もするようにしていました。

Q 受験情報はどのように調べましたか？

A トフルゼミナールに問い合わせをしたり、ネットで調べたりしていました。志望校は決まっていたので、受験でどういった試験が行われるかなどを事前に調べました。

Q 受験対策はどのように行っていましたか？

A 英語力UPのためにとにかく英語の勉強をしていました。特に中央大学の英語運用能力試験の出願資格(2015年度の場合)となるTOEIC680点を目標として、TOEICの対策に力をいれていました。留学当初はTOEIC480点でしたが、7か月後にはTOEIC800点台に達することができました。その後は私立大学の一般入試対策(国語、英語、社会)を自主的に行っていました。またYEAR12(高校3年生)の1月からトフルゼミナールを利用していました。小論文の添削、出願書類の確認、メールでの質疑応答をしてもらっていました。YEAR12の8月、日本への一時帰国の際にトフルゼミナールの面接対策を5回受講しました。

Q 留学の経験は、進路にどのように影響しましたか？

A 将来の夢について、改めて考えるようになりました。日本から外にでたことによって、外から見た日本を知ることができました。元々漠然と公務員を目指していましたが、留学をしたことにより日本の良い点を再認識し、そこに住む人たちに貢献する公務員の仕事をしたい、と目的が明確になりました。もし日本にいたらずっとゲームやネットをして高校生活を過ごしていたと思います。私の場合は、日本と異なる環境に出たことにより英語力を伸ばすことができ、志望校に合格することができました。



HIKARUさん
・1年4ヶ月間の留学
・中央大学法学部合格

推奨予備校のご案内

海外の高校では基本的に、受験対策は学生・保護者が主体で行います。早期情報収集、受験対策に役立つ、本校推奨予備校の情報を紹介します。

トフルゼミナール 海外帰国生教育センター

● **コース(一部)**
TOEFL / TOEIC / IELTS Test対策、帰国生小論文、帰国生現代文、帰国生人間力養成講座(志望理由書および面接対策)等

● **推奨受講時期**
Year11(高校2年生)の3学期終了後(12月~1月。一時帰国をして受講)
※受験一時帰国中(8~10月)に直前対策個別指導を受講することも可能
※フィジー滞在中は一部メールサポートあり
※Year11以外の学年でも随時、受講可能

● **校舎**
高田馬場、池袋、渋谷、四谷、立川、調布、町田、横浜、藤沢、大宮、船橋、大阪、神戸、名古屋、京都など

卒業後の進路

| 種類 | 学校名 | 学科/学部 | 入試形式 |
|---|---------------------------------------|--|----------------|
| 4 年 制 大 学 | 早稲田大学 | 政治経済学部/国際教養学部 国際政治経済学科 | AO入試 |
| | 明治大学 | 政治経済学部 | AO入試 |
| | 青山学院大学 | 教育人間科学部 教育学科 | 一般入試 |
| | 中央大学 | 経済学 経済学科/公共・環境経済学科 法学部 政治学科/商業・貿易学科 | 帰国生/英語運用能力特別入試 |
| | 横浜国立大学 | 国際総合学部 国際教養学科 | AO入試 |
| | 中京大学 | 経済学部 経済学科 | 帰国生入試 |
| | 甲南大学 | 文学部 社会学科 | 帰国生入試 |
| | 西南学院大学 | 法学部 法律学科 | 帰国生入試 |
| | 日本大学 | 国際関係学部 国際教養科 観光学部 観光学科 | 帰国生入試 |
| | 創価大学 | 国際教養学部 | 帰国生入試 |
| | 国士館大学 | 21世紀アジア学科 | AO入試 |
| | 桜美林大学 | リベラルアーツ学群 | AO入試 |
| | 東京未来大学 | モチベーション行動科学部 | AO入試 |
| | デジタルハリウッド大学 | デジタルコミュニケーション学部 デジタルコンテンツ学科 | AO入試 |
| | 神奈川大学 | 経営学部 国際経営学科 | AO入試 |
| | 神田外語大学 | イペロアメリカ言語学科 スペイン語専攻 | AO入試 |
| | 愛知学院大学 | 文学部 グローバル英語学科 | AO入試 |
| | 名古屋音楽大学 | 音楽学科 ジャズ・ポピュラーコース | AO入試 |
| | 京都産業大学 | 外国語学部 国際関係学科 | 帰国生入試 |
| | 大和大学 | 政治経済学部 | 一般入試 |
| | 関西外国語大学 | 外国語学部/英語国際学部 英米学科/英語国際学科 | 帰国生入試 |
| | 大阪経済法科大学 | 経済学部 経済学科 | 帰国生入試 |
| | 天理大学 | 国際学科 地域文化学科 | AO入試 |
| 神戸学院大学 | 人文学部 人文学科 | AO入試 | |
| 流通経済大学 | 法学部 ビジネス法学科 | AO入試/帰国生入試 | |
| 立命館アジア太平洋大学 | アジア太平洋学部/国際経営学部 | AO入試/推薦入試 | |
| 沖縄大学 | 国際コミュニケーション学科 | AO入試 | |
| 海 外 | Orange Coast College(アメリカ合衆国/カルフォルニア) | business | |
| | 国立台北科技大学(中華民国/台北) | 応用英語学科 | |
| | Help University(マレーシア/クアラルンプール) | International business courses | |
| 短 期 大 学 ・ 専 門 学 校 | 国際短期大学 | 国際観光コース | AO入試 |
| | 平安女学院 | 国際観光学部 国際観光学科 | 帰国生入試 |
| | 関西外国語短期大学 | 英米語学 | 指定校推薦 |
| | 日本外国語専門学校 | 英語本科/国際ビジネス科 公務員専科/総合ビジネス専攻 | AO入試 |
| | 首都医校 | 看護学部 高度専門士看護学科 | AO入試 |
| | 東京IT会計法律専門学校千葉校 | 法律学科 公務員初級コース | AO入試 |
| | ハリウッドビューティー専門学校 | 美容科 | 推薦入試 |
| | 神田外語学院 | ホテル科/アジア・ヨーロッパ言語科/英語専攻科 | 推薦入試 |
| | 大阪eco動物海洋専門学校 | 海洋生物保護専攻 | AO入試 |
| | 布池外語専門学校 | 文化教養専門課程 オーバーシーズ学科 | AO入試 |
| | 神戸リハビリテーション福祉専門学校 | 介護福祉科 | AO入試 |
| | 大原簿記専門学校 | 公務員事務系 | AO入試 |
| | NIC International College in Japan | | 特待生入試チャレンジB |

受験方式

帰国生入試

帰国生入試とは海外留学経験が1年~3年ある学生に対して実施される方式です。現在400以上の大学で実施されています。すべての学部・学科で実施している大学もあれば、一部の学部・学科のみしか実施しない大学もあります。受験資格は「外国において学校教育における12年の課程を修了した、あるいは修了見込みであること。」を基本的な条件としています(各大学により在学年数、保護者同伴必須条件の有無、卒業後の超過年数などの条件を設けている大学もあります)。選考方法は書類選考と面接が一般的です。

AO入試

AO入試とは出願者の人物像を学校側の求める学生像(アドミッション・ポリシー)と照らし合わせて合否を決める入試方法です。学力試験の得点で合否が決まる従来の一般入試とは異なり、志望理由書や面接などにより出願者の個性や適性に対して多面的な評価をします。学業成績に加え、語学資格、部活動の成績やボランティア活動の履歴、個人的な活動(伝統芸能の継承や芸術活動、芸能活動など)を、アピールすることができます。私立大学、国公立大学でもAO入試による選抜を実施しており、様々な学部や学科で今後拡大予定です。

一般入試

一般入試とは、学力試験において合否を決める入試方法です。国公立大学の場合、原則センター試験の受験が必須となります。センター試験は5教科7科目の受験が課される場合が多いです。同時に各大学が独自に作成した二次試験が実施されます。私立大学の場合、各大学が独自に作成した試験が実施されます。また、大学・学部によりセンター試験の結果で合否を判定する受験枠もあります。国公立・私立大学共に、日本の教育カリキュラムに基づいた学力試験を実施するため、高校入学~卒業まで海外で過ごしている学生は受験が困難な場合が多いです。受験を目指す場合は、予備校への通学や留学中の自習などの対策を行いましょう。

体験留学(下見留学)

2週間
モデルコース

「長期留学を検討しているけど、事前に確かめたいことがある」という方に向けて、事前に現地環境を確かめることを目的とした下見プログラムです。

体験留学概要

対象者: 正規留学を検討している方

参加時期: ご検討されている正規入学時期に合わせて、ご渡航できる時期が決まっています。

- YEAR 9 入学検討者(中3で長期留学をご検討の方)
…中1の春季・中2の夏季
- YEAR10 入学検討者(高1で長期留学をご検討の方)
…中2の夏季・中2の春季・中3の夏季
- YEAR11 入学検討者(高2で長期留学をご検討の方)
…中3の春季・高1の夏季
- YEAR12 入学検討者(高3で長期留学をご検討の方)
…高1の春季・高2の夏季

参加資格: 提出書類の内容によって総合的に参加の可否を決定します。留学に対する目的意識を重視しています。

※2018年5月以降の出发者より実施

参加期間: 1週間～12週間

※出発日はご相談ください ※夏休みの期間は原則2週間です
※参加は学期中のみとなります



2週間滞在

体験談 NOWAさん

出発前は不安が大きかったですが、現地での生活や学生との交流が楽しかったのでその後の3年間の正規留学を決めました。お兄ちゃんと同じ学校に留学しているのも、安心できたポイントの1つでした!

出発・到着

いよいよ出発日。各地の空港から学生各自で渡航します。

13:00頃 フィジーへ出発。ここから留学のスタート!! 2週間後、成長して戻ってくるぞ。行ってきまーす!

19:00 韓国で乗継ぎ。初めての飛行機で不安だったけど、日本語表記があって安心。

翌9:00 学校に到着。学校サポートスタッフからフィジーでの過ごし方についてレクチャー! しっかり聞いている楽しい留学生活にしましょう。

11:00 制服購入して いよいよ現地の学生に!

13:00 荷物注意!

14:00 タウン散策! スーパー・銀行・ネットカフェの場所をチェック!!

17:00 ホストファミリーと初対面。いよいよ英語オンリーの生活の始まり! ゆっくり休んで明日から頑張ろう!

19:00 Transfer 送迎 転機 乗り継ぎ

学校生活

3日目～14日目の平日は毎日学校へ通います。英語研修、一般科目どちらにも参加します。

7:30 ホストファミリーと初登校。(初日のみ) バスの乗り方を覚えるゾ!

10:00 ランチタイム 仲良しの仲間と外でランチ。学校生活にも慣れて学校に来るのが楽しみ!

9:00 ESLクラス 分けてテスト! 実力を発揮できるかな!?

12:00 ESL授業 スピーキング中心の授業で英語力を伸ばそう!

13:00 ローカル授業 現地生と一緒に一般カリキュラムに参加。

14:00 2部オリエンテーション(1回のみ) 学校の授業や校則についてレクチャー。

15:30 下校。 今日一日の出来事を英語で話せるかな。

16:00 バスライン 毎日決まった時間に全校集会。校長先生の話をしっかり聞こう!

英語研修(ESL)を受けるコツ

- 授業中、日本語を使わないようにする。分からないときは、単語をつなげたり、ボディランゲージで伝えられるよう頑張りましょう。
- 辞書を持っていき、分からない単語はすぐに調べる。先生に伝えたいことがあるときは、辞書を指さしてもOK!

1回目の週末編

※1日のスケジュールは一例です
※開催日程、内容は毎年変更があります

フィジーの文化を感じる日帰り研修「アウトドアプログラム」

8:00 出発!!

9:00 村に到着! ウェルカムドリンクでお出迎え!

9:15 Traditional Fijian Ceremony おもてなしの伝統儀式「カヴァ」に挑戦!

10:00 伝統工芸品に触れる

10:30 トロピカルなガーデン散策!

11:30 みんなでランチを食べつつ休憩

12:00 乗馬体験! 上手に乗れるかな?

13:00 フレンドリーな村人との出会い!

14:00 泥温泉体験 みんなで泥温泉でわいわい

15:00 村人から食事のおもてなし

16:00 いよいよお別れ。またいつか会おう!

一般科目(ローカル授業)を受けるコツ

- 分からないのは当たり前。“海外の授業の雰囲気”を楽しみましょう!
- 授業の前後でフィジー人学生に話しかけてみましょう。外国人の友達を作るチャンスです。

2回目の週末編

土曜日
例①ナンディタウンまでShopping!!
バスで隣町まで買い物へ。お気に入りの土産見つかるかな?!

例②日帰り離島クルーズ
みんなでマナ島やビーチコンパー島にクルーズ。シュノーケリングやマリンスポーツに挑戦。忘れられない思い出を作ろう!

日曜日
例①ホストファミリーと教会へ♪
日本では教会へ行く機会はないかな? 海外経験の1つとして、参加してみるのも◎

例②最後の週末、家族とゆっくりおしゃべり
日曜日は町全体もお休みモード。のんびりするのが大好きなフィジー人とフィジアン・タイムを♪

帰国日 いよいよ最終日。「帰りたくない」と涙...

6:00 お世話になったホストファミリーとお別れ! しっかり感謝の気持ちを伝えよう!

7:00 どうとう帰国便の時刻。みんなありがとう。運命的に会えた仲間とお別れ。日本で再会を誓ってバイバイ! 帰りたくないよ～

21:00 ただいま! 日本到着 真っ黒に日焼けして遅くなって笑顔で帰国。フィジーでの経験は一生の宝物。

帰国後 体験留学での経験をもとに、将来についてしっかり考えよう!

個別相談・お電話での相談
体験留学参加後、フィジーで長期留学に挑戦したい場合や、今後留学に行くタイミング、その他気になることなどを相談したい! という学生さんは、お気軽にご相談ください。

はじめに

フィジー情報

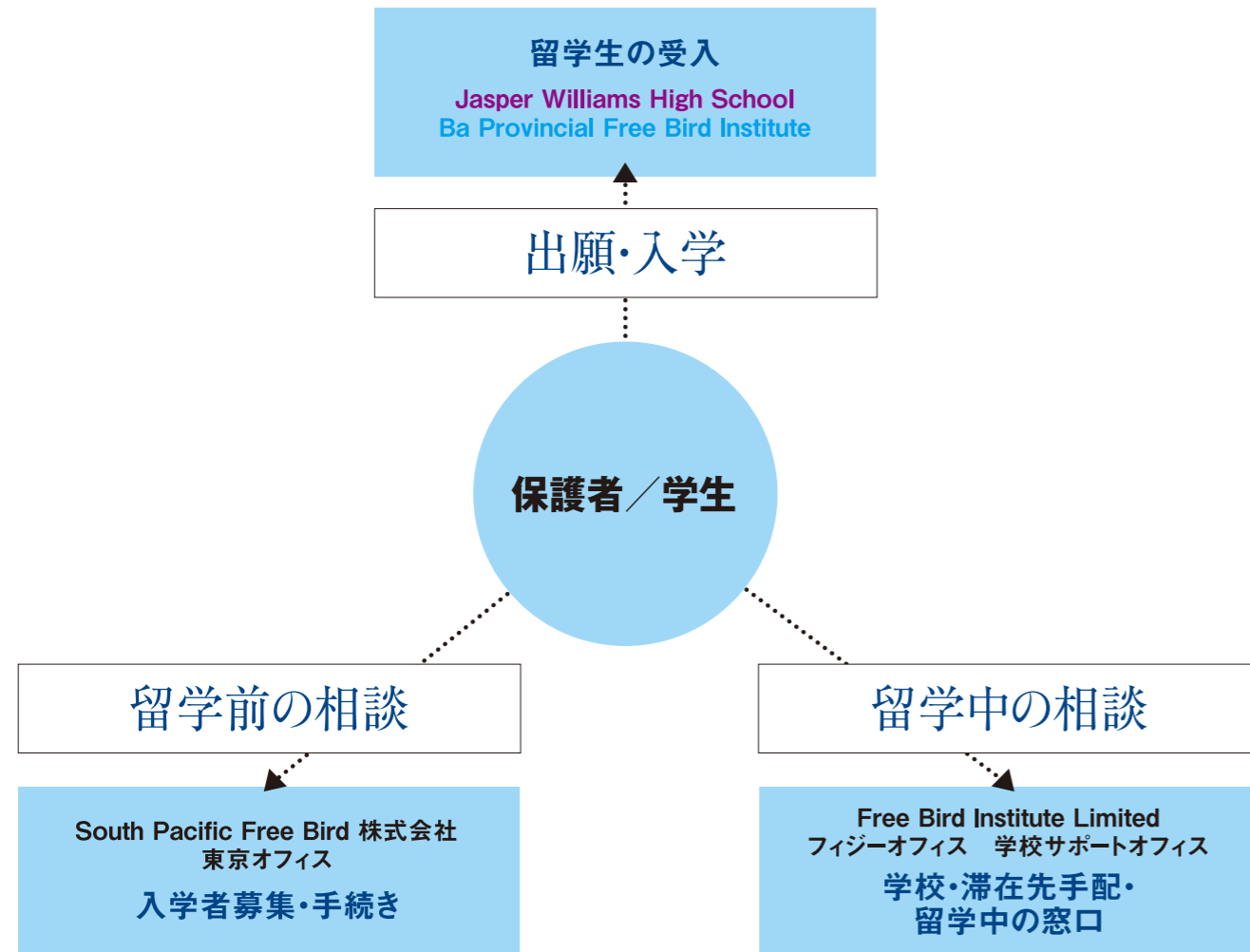
学校情報

生活情報

フィジー中高留学の体制

フィジー中高留学では、東京オフィス、学校、フィジーオフィス、学校サポートオフィスなど様々な組織が皆様の留学に携わり、留学生の渡航前、渡航後の対応をしております。

フィジー中高留学の体制



フィジー留学中のご相談について

直接、学校へ相談可能

学生様は渡航後、日本とは違うフィジーの文化、学校生活・環境について、様々な悩みや課題が出てくると思います。悩みや課題が出てきたときは、まずは自身で解決できないかを考えてみてください。留学中の深刻な悩み、滞在中のトラブルについてのご相談、質問については、経験豊かな日本人スタッフが为您解答いたします。留学後の必要手続きについても保護者様からの相談が可能です。

日本語での対応可能

渡航後、学生・保護者様ともに日本語での相談が可能です。保護者様は直接、国際電話で学校サポートオフィスへお問い合わせができます。英語力が不安な学生も日本語で相談ができます。



留学中の相談方法(学生)

学生の自立を促すために、相談は学生からの予約制をとっています。留学中の悩みやトラブルは、積極的に自分から相談をして解決を目指しましょう。

1 予約



まずは相談の予約受付。「ホームステイ先での悩み」や「学習についての悩み」など、アドバイスが必要な際には自分から相談予約をしましょう!

2 相談



悩んでいることを、日本語で相談をすることができます。問題の解決方法を一緒に考えましょう。

3 解決



相談をして考えた解決方法を実践してみましょう。留学中は「悩む」→「解決策を考える」→「解決」というステップを繰り返していくことで成長をするチャンスです。

留学中の相談方法(保護者)

学生に関する学校・留学生活の相談については、平日の学校時間内に電話で直接、学校サポートオフィスへご連絡いただいています。

1 確認

事前に学生とコミュニケーションをとっていただき、日本人のスタッフと相談したい内容をご確認ください。(日本時間朝5時~14時/サマータイム導入時は朝4時~13時)

2 相談

日本人スタッフ、保護者も一緒になって、問題解決をしていきます。最終的には学生に課題を解決してもらるように相談していきましょう。



お子様を留学へ送り出す保護者の皆様へ

保護者の心構え

1. 本人に留学への目的・やりとげる覚悟を持たせる
2. 留学前に親と子で十分にコミュニケーションをとる
3. お子様とは定期的に連絡を取れるように準備をする
4. お子様の可能性を信じ、最後まで留学を応援する
5. 日本とフィジーの違いを理解するように努める

Q 高校留学に向けて、何から準備をすればいいのかわかりません。

A 東京オフィススタッフへお問い合わせください。東京オフィスでは、グループ説明会と個別相談会を実施しています。国内進学と海外進学の違いや、卒業資格、進路など学校選びに関わる様々なご質問にお答えします。フィジーを含めた海外経験豊かなスタッフがご案内します。

Q ホームステイ先で何か起こったときの対処が心配です。

A ホストファミリーとの問題が起こる原因はコミュニケーション不足によるものが多いです。まずはホストファミリーへ相談をして解決を試みましょう。それでも解決できない場合は、学生から学校サポートスタッフへご相談ください。

Q お子様と連絡はどのようにとればいいですか。

A 電話、メール、SNSを利用して連絡を取ることができます。学生さんと保護者の皆様には、直接連絡を取ってもらうことをお願いしています。ホームステイ先・学校・公衆電話の利用や、学生さんが海外レンタル携帯/日本でお使いの携帯/現地で購入した携帯電話などを持ち、日本の保護者と国際電話をすることもできます。また、学校のパソコンやインターネットカフェを利用してメール連絡をすることも可能です。

保護者の皆様からのメッセージ

「このままの自分ではいけない。留学を機に変わりたい」と強い意志を見せて留学を決意。留学後は「日本に帰りたい…でも頑張る」と。

私は冬休みの2週間のオープンキャンパスへの参加を勧めました。しかし次女は説明会から帰ると正規入学したいと申しました。私も夫も大変驚き、突然の事で大変悩みました。しかし本人の意思は固く「このままの自分ではいけない。留学を機に変わりたい」と強い意思を示しました。留学して2ヵ月程過ぎた頃、案の定ホームシックになり、電話口で何度も泣いておりました。「日本に帰りたいけど…でも頑張る」と。「帰っておいで」と、のど元まで出ていましたが本人の為に口に出してはいけないと思い我慢しました。娘を信じ、自分の力で困難を乗り越えられるよう祈るしかありませんでした。子育て＝自分育てとも言うように親の私も成長させてもらっていると思います。事実、様々な壁にぶつかり経験をしながら着実に娘は成長しているようです。先日FIJIへ行ってきました。学校見学、ホスト先への訪問等させて頂き、想像以上に先生・スタッフ・ホストファミリーの皆様が温かい方々でしたので、安心して帰国する事ができました。フィジーの子供たちは「人を許す心」を持っていると感じます。きっと「許す心」を持つ大人に育てられるからではないでしょうか？今の日本では難しくなっている、人として大切な心の教育がFIJIでは普通に学べるのではないかと思います。フィジーでの経験は、今後の娘の人生に大きく意味のあるものになると確信しております。

「将来は外国に関わっていける仕事に就きたい」。国内高校に進学するものの、不完全燃焼状態に。親子間で何度も何度も話し合い、フィジーの正規入学に送り出しました。

息子が中学3年の冬、なかなか受験勉強に身が入らず、ある日どうして勉強しないのか尋ねると「海外を見てみたい。」「英語が話せるようになりたい。」と話してくれました。親として、寝耳に水、ただただ驚くばかり。私と主人は、安全・安定路線を歩んで来た二人。自分の子供が自分たちとはかけはなれた経験をする事にとっても戸惑うと同時に大きな不安を覚えました。息子と話し合い高校受験はすることになり、その後合格した高校への通学が始まりました。しかし、学校生活の中では自分のやりたいことがみつからず、不

「オープンキャンパスに参加して自身でフィジーの学校を体験し、納得した上で正規留学をすることに。後ろからそっと背中を押してやることも親の努めではないかと腹をくくりました。

娘からフィジーに留学してみたいと相談してきたのは中学2年の3学期のことでした。世話好きで積極的な性格ですが、日本の学校では自己主張が強過ぎると捉えられ自分の思いを話せば話すほどまわりからの反発を受けてしまい孤独感に苦しめられているようでした。そんな中、自分でインターネットでフィジー留学を調べ、この大らかなフィジーの風土ならば自分を受け入れてもらえるのではないかと、考えたようです。娘から相談を受けたときはとても悩みましたが、自分で決めたことを後ろからそっと背中を押してやることも親の努めではないかと腹をくくることに致しました。まずはオープンキャンパスに参加して自身でフィジーの学校を体験し感じ、納得した上で正規留学させることを決めました。帰国後、娘は正規留学の道を選び、中学3年生の1学期終了後、フィジーへと渡りました。現在、まだ英語も話せない状況の中、身ぶり手ぶりと片言の英語で明るく楽しい毎日を送っています。いずれは英語を身につけて、海外の大学へ進学したいと考えているようです。自身で決めた留学ですので泣き言は言ってきませんが、私達家族は本人からのメールの語調や電話での口ぶりで体調や気持ちを推し量り、気遣う毎日が続いています。娘の事を想うと心配は尽きませんが、娘がフィジーの国に馴染み、その国のルールを守って、多くの人達と心からの交流を持つ人間に育ってくれることを願ってやみません。

完全燃焼状態が続きました。自分では何も決められなかったという親への不満だけが残る結果になりました。親として、息子に安定した人生をと思ってすすめた高校受験でしたが、それは、ただ私と主人の気持ちのみを安定させただけで終わっていました。その後何度か話し合い、息子の気持ちを尊重し留学することを決めました。留学を決める迄、親子共どもたくさん悩み、たくさん涙も流しました。しかし別れる時に「いってくるけん」と言いニコッと笑って手を振ってくれました。息子なりに覚悟を決めての出発だったように思います。

保護者の皆様に聞いた「留学前・留学中・留学後のいろいろ」

Q お子様をフィジー留学に送り出そうと思った理由は何ですか？

- A**
- 若いうちに世界を感じて、心に響く何かを得られたらいいなと思いました。高校進学を考えた時に、日本の高校に魅力を感じられず、息子の高校生活の平凡な日常が想像できてしまったからです。
 - 本人の希望(銃社会ではないので安全面で安心、物価が安い、のんびり過ごせそう)を最優先させました。

Q 留学中、保護者として意識していたことや、どのようなサポートをしてきたか教えてください。

- A**
- こちらはなるべく連絡を取らないようにして、困った時は自分で考え解決できるようになってくれたらいいなと考えていました。本人から連絡(LINE、スカイプ等)がきた時は、聞き役にまわりました。
 - 食生活は大丈夫なのか?勉強はしっかりできているのか?が気になり、スカイプで連絡を取り合いました。
 - 用がない時も、なるべく連絡を取るようしました。日本のニュースや息子が望む情報なども教えてあげたりもしていました。親として、フィジーのことを調べたり、ホームステイ先の方との交流も考えたりしました。

Q 留学を経て感じるお子様の成長を教えてください。

- A**
- 「お金やゲーム、携帯電話が充実してなくても幸せだよ」と留学に行って半年くらいで言われました。本質を見る・感じられる人になれると思いました。
 - 英語が上達したことです。また、日本の良さ、自分1人で生きているのではなく、周りのサポートあつての自分だと気付いたことです。
 - 外見もですが、考え方がしっかりしたと思います。親から見るとまだまだですが、確実に成長したと思えます。
 - 対人態度が物怖じすることがなくなっていました。また、積極性が出ていました。
 - 恥ずかしがらずに自分の意見を言うようになった気がします。

Q 留学をさせて良かったと思うことは何ですか？

- A**
- 人との出会いの大切さや、本人の視野が広がったことだと思います。日本に住んでいて、自分達がいかにか恵まれた環境にあるかや、時間の大切さも分かったようでした。また、親子関係が良くなったとも思います。お互いに相手を思いやる気持ちが強くなったかな。
 - 異文化を体験できたこと。日本での生活がいかにか恵まれているか実感できたのではないかと思います。
 - 自立・自己成長に向け努力し、成果を上げられたということが自信に繋がったと思う。

Q 留学体験がご卒業後の進路にどのように役立ちましたか？

- A**
- 英語を活かせる職を意識している点で、選択肢が広がったように感じます。
 - 自分のやりたいことを見つけ、夢の実現のために大学で国際経営学を学ぶことになった点です。
 - フィジーに留学していなかったら、志望大学に出会えず、やりたいことも分からなかったかもしれません。また、今後も英語や世界を視野に考える大学の授業にも役立つと思います。



異文化を肌で感じるホームステイ滞在

ホームステイ滞在は文化も価値観も違う家族との生活になりますが、積極的にお手伝いなどをして家族とコミュニケーションを取るよう心がけましょう。

フィジー留学のホストファミリー

各家庭は、本校の設備確認を受けた家庭です。1人部屋を提供され、食事は朝と夜(休日は3食)は家族と同じものを食べます。また、門限は20時と決められています。安全に留学生活を送るために、きちんとルールを守って生活をしましょう。

ホストファミリー

人種

フィジー系とインド系がメインです。その他パートヨーロッパ人やパートチャイニーズなどの混血のファミリーもいます。原則、人種はリクエストできません。



言語

フィジーはバイリンガル国家です。フィジー語やヒンドゥー語なども母国語として存在します。家庭内の家族間同士の会話では母国語を使用することもあります。留学生には英語で話します。



宗教

フィジー系はクリスチャンの方が多く、週末は教会に行く家庭が多いです。インド系はヒンドゥー教の方が多く、家庭によっては食べることを控える食材があります。

移動手段

通学

徒歩かバスが主な手段です。通学のおおよその所要時間は、バスや徒歩で約40分圏内です。家庭によって移動距離や移動手段は異なります。学校初日の登下校では、ホストファミリーが送り迎えをしてくれます。

タクシー

日本と比較するととても安いです。政府公認の安全なタクシーがナンバープレートですぐ見分けられます。外が暗くなったらタクシーに乗るという学生も多いです。

食事

フィジー系

イモ類がメイン。タロイモやキャッサバなどのイモ類と一緒に、お肉やお魚・スープなどが一緒に出ることが多いです。味はシンプルで、日本人にとってもクセのない食事が多いです。



インド系

カレーがメイン。毎日違う種類のカレーが出ることが多いです。スープ状のものや、具が盛りだくさんなカレーなど味や具材は多種多様です。



レストラン

日本食、中華料理、ピザ屋、ファーストフードなどのお店やカフェやタピオカジュースのお店などがあります。

ネット環境

ホームステイ先

パソコンを持っていない家庭も多いです。インターネット契約などは学生が個人で行うのが基本。USBタイプのインターネットやポケットwifiを利用している学生が多いです。

街の中

インターネットカフェがあります。フィジーの地元の方は、インターネットカフェでパソコンを利用することが多いです。

携帯電話

現地で安価なものを購入+日本の携帯の契約を変更して持ってくる学生が多いです。iphoneやスマートフォンはフィジーではまだ主流ではないため、盗難には十分注意しましょう。



留学生のホームステイ体験談

留学生はホームステイで、どのような過ごし方をしているのでしょうか。



食事や行事、文化の違いを積極的に楽しんでいます

Indian Family

顔がかっこいいお父さんと、細いお母さん、お父さん似の3歳の女の子と1歳の弟が私のフィジーでの家族です。イスラム教なので「ナマステ」ではなく、「アサラマレクム」と挨拶します。食事はカレーが主ですが、チョプスィー(野菜炒め)やヌードルなどもよく食べます。ちなみに、お父さんの作る「チリチキン(鶏肉の炒め物)」が私の好物です。この前、サリーを着てイスラム式の結婚式に行ってきました。インド人のきれいな人に囲まれながら、真似してごはんを手で食べてみたけど、なかなか難しかったです。土曜日は庭にプールを出して子供達と水遊びでしようと思います。

みんな本当に優しく家族の一員とみてくれています

Fijian Family

私の家族は、ファザー、マザー、12歳、10歳、4歳の女の子と、0歳の男の子の6人家族です。みんな本当に優しく、私を家族の一員として見てくれます。気を遣うことなく過ごさせています。家に帰ったら、家族とおやつを食べて、そのあとは、ディナーまでテレビを見たり、話をしたり、外でバレーボールをしたりします。ディナーの後は、その日の宿題をして分からないところはホストファミリーが教えてくれます。食事は、ライス、キャッサバ(フィジーで主食として食べられているイモ)、パンが主食で、毎日変わります。金曜日には、教会に行きます。生活していく上で気を付けていることは、自分の意見をしっかりと伝えることと、家族の意見も聞いて、理解することです。



お互いに尊重し合えるホストファミリーです

Part European family

私のホストファミリーはパートヨーロッパ家庭です。子供は一番幼い子が1歳で一番大きい子が小学校2年生です。食事が美味しく、マザーは、フィジアンスタイルを始めインディアン・チャイニーズ・ヨーロッパスタイルと言ったあらゆる種類の料理を作ってくれます。カトリックであるファミリーは毎週日曜日に教会に行きます。そしてたまに自宅でお祈り会を行うこともあります。私も何度か誘われました。また、ファミリーは私のプライベート空間や時間を尊重してくれます。そのため私も、どうしても帰宅が少し遅くなる時や夕食が要らない時には必ずファミリーに知らせること、子供達が眠った後は静かにすることを心掛けています。



ラウトカタウンMAP

学校がある、ラウトカという街はフィジーで2番目に大きな街です。フィジーは発展途上国ですが、生活に必要な物は一通り揃っており、生活には困りません。



9 Total (Gas Service Station)

ガソリンスタンド



10 Lautoka City Council

ラウトカ市役所

11 Tanoa Waterfront Hotel Lautoka

タノア・ウォーターフロント・ホテル・ラウトカ
シーサイドにあるラウトカで一番良いホテル。

12 Bondwell

パソコン及び周辺機器の品揃えがラウトカで一番充実しているお店。USBメモリー、SDカード、DVD-Rなどが購入できる。



13 Link Road kava shop

食料、日用品がそろっているショップ

14 Shirley Park

シャリーパーク。シーサイドにある広々とした公園。大きな木が多数生えていて、その木陰で週末に家族連れなどでのんびり過ごす人が多い。ラウトカ市民憩いのスポット。

15 Lautoka Hotel

ラウトカ・ホテル。このピザはラウトカで一番おいしいと評判。



16 ANZ Bank

ANZ銀行の支店

17 Blue Ginger Cafe & Bar

おいしいコーヒーが飲める喫茶店。オーナーはFijian Artに詳しく、たまに絵画などが展示されている。



18 The Body Academy

Blue Ginger Cafe & Barの隣にあるジム。明るいガラス張りのきれいな設備で、1日3\$から利用でき、留学生で利用している学生もいる。



19 Lautoka Fire Station

ラウトカ消防署

20 Cathay Hotel

キャセイ・ホテル

21 Court Complex Lautoka

ラウトカ裁判所



22 West Point RB Patel

スーパーマーケット。通称"RB"。Hot Bread Kitchen(街で人気のパン屋さん)を併設している。

23 Lautoka Police Station

ラウトカ警察署。

24 Natabua High School

ナタンブア高校。陸上競技大会は毎年この学校で行われている。

25 Avenue Clinic & Gym

アベニュークリニック&ジム。夜9時まで診療している便利な私立病院。ジムも併設している。

26 Churchill Park

チャーチルパーク。フィジーで最も大きなラグビー場があり、国際大会はここで行われる。また広い芝生エリアを利用して、様々なFestivalが行われる。

27 Basketball Court

チャーチルパークの中のきれいなバスケット場。留学生がバスケットコート借りてバスケットボールを楽しむことができる。

28 Western Union

ウエスタン・ユニオン。両替所。

29 Sydney Secrets

古着屋



30 Bargain Box

化粧品や各種雑貨などを2\$などで販売していて、いつも混雑している人気の格安ショップ。

31 Value City

ラウトカで一番古い古着屋

32 XOXO Boutique

2012年10月にオープンしたばかりのお店。日本にありそうなくらい、きれいな店構え。商品もフィジーの中では高級なものを揃えている。



33 Chinese Palace

中華料理店。通称"チャイパレ"。比較的リーズナブルに、おいしい中華料理を食べることができるため、フィジー人だけでなく、留学生にも人気。

34 Dr Janice Brown Family Health Clinic

私立病院

35 Baily Clinic

私立病院

36 Jack's

デパート

37 adidas Store

Jack's内に併設されている。

38 Nice Day CAKE&PIZZA

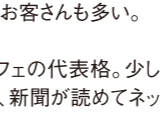
シュークリームを売っている。

39 McDonalds

店内はとてきれいで欧米のお客さんも多い。

40 Chillii Tree Cafe

カフェ。ラウトカタウン内のカフェの代表格。少し値段は高めだが、空調があり、新聞が読めてネットも使用できる。留学生も時々利用している。



41 The University of the South Pacific Lautoka Campus

42 BSP Bank

BSP銀行ラウトカ支店

43 New World

スーパーマーケット

44 Nani's Fast Food

早くて安く美味しい中華が食べられるファーストフードのお店。

45 PADDY'S Curtains & Fabrics

ラウトカで一番、布地の品揃えが豊富な店の一つ。ここで布を購入して、テイラーでブラドレスやブラシャツを作ってもらえることができる。

46 Prouds

デパート

47 Chemist

薬局

48 Coffee Bean Cafe

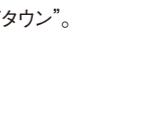
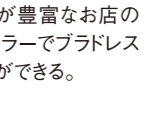
カフェ。通称"ビーンカフェ"。店内はきれいで広く、ストロベリーフラッペは一押し。

49 Mega Net

インターネットカフェ。日本語入力可能なパソコンがあり、1\$/1h〜。留学生もよく利用している。

50 Rajendra Prasad FOODTOWN

スーパーマーケット。通称"フードタウン"。



51 SHOP N SAVE

スーパーマーケット。ラウトカでは一番安いスーパーで留学生がよく使っている。

52 Bus Station

バス乗り場

53 Market

市場。新鮮な野菜や果物を購入するならココ。

54 SUGAR CITY MALL

ショッピングモール。

55 Quality Sports

制服や体操着を購入するお店。

56 SURESH Sweets & Snacks

インディアンスイーツとファーストフードのお店。このインディアンスイーツがラウトカで一番おいしいと街の人達の中で評判のお店。

57 インディアンスイーツの屋台

インディアンスイーツのお店が何軒も並んでいる。

58 Tigers

ファーストフードのお店

59 Western Regional Library

1964年に消防署の隣に開館した図書館で、現在約2万冊の本がある。留学生も借出可能で、一度に二冊まで借りることができる。

60 The Shopping Centre

2013年4月にMHスーパーマーケットの向かいにオープンしたショッピングビル。Courtsなどの大型電器店やFiji最大級のPC機器店、オーストラリアの銀行Westpacが入っている。



1 Lautoka Post Office
ラウトカ郵便局。日本から届いた小包の受け取りはここで行う。併設されている文房具店は品揃えが充実している。

2 B.B.Q Chicken
通称"BBQ"。高級なケンタッキーフライドチキンのようなお店。チキンバーガーなどだけではなく、パスタなども食べられる。

3 Digicel
携帯・インターネットのお店。携帯電話・インターネットの契約や各種支払いができる。

4 Vodafone
携帯・インターネットのお店。携帯電話・インターネットの契約や各種支払いができる。

5 Tappoo City
2017年にオープンした大型ショッピングモール。衣料品店、フードコートや美容室、映画館などがあり学生からも大人気。

6 MH
ラウトカで一番品揃えが多いスーパーマーケット。スーパーの中では、値段は少し高め。

7 SUGAR 'N' ICE
通称"タビオカ"。タビオカジュースやフレッシュジュース、アイスなどがあり、おいしいので留学生がよく通っている。

8 Village 4 Cinemas
4つのシアターがある映画館。3Dの映画が観られる。



放課後・休日の過ごし方

学校で学ぶことだけが、留学ではありません。
放課後や休みの日に現地の文化や生活に触れることも留学の大きな醍醐味です。
フィジー高校留学で経験できることをご紹介します。

買い物をする



●市場・スーパー

市場では新鮮な野菜や果物を安価に買うことができます。滞在先で日本食を作って家族や友人に振る舞うのもよいでしょう。また、大きなスーパーではたいいていの日用品が入手できます。ラウトカでは街の中心にあるショッピングモール「シュガーモール」など、たくさんのお店やレストランがあり、買い物客で賑わっています。日曜日はキリスト教徒の安息日の為、街のお店は閉まっていることが多いです。

食べる

●レストラン

ラウトカタウンにはインド料理、中華料理等のレストランがあり、ナンディまで足を運ぶとイタリア料理、日本料理、韓国料理等のレストランがあります。特にインド料理は本格的かつ非常にリーズナブルな値段でインド家庭の味が楽しめます。そのほかに、ピザやフライドチキンなどのファーストフード店もあります。



スポーツ

●フィジーは7人制ラグビーが有名です。

●バスケットボール

ラウトカタウンには公共のバスケットボールコートがあり、使用許可を取りバスケットをすることも出来ます。

※利用には費用がかかります。

●スポーツセンター

ラウトカタウンにあるスポーツセンター、水泳等が楽しめます。



体験する



●離島クルーズ

本島から船で30分～1時間ほど行くと、珊瑚の美しい海が広がっており、小さな離島が点在しています。離島には、たいいてい宿泊することができ、ダイビング、シュノーケリング、バナナボート、パラセーリングなど、さまざまなアクティビティが楽しめます。

●フィジー温泉巡り

ナンディからバスで20分のところにはサンベト温泉(泥温泉)があります。何も整備されていない温泉ですが、周りにサウキビ畑が広がり、牛がいて本当にのどかな温泉です。



●ゴスペル

日曜日はぜひ教会に行ってみてください。美しいハーモニーで歌われるフィジーのゴスペルソングには心を奪われるはず。許可の要るものではなく、誰でも気軽に受け入れてくれます。

※教会に行くときには服装に決まりがある場合が多いので、ホストファミリーなどに確認してから参加するようにしましょう。

課外活動

●ボランティア

老人ホーム(Natabua Old People's House)や孤児院(Treasure House Children's Home)におけるボランティアができます。

●街のゴミ拾い

学内及び地域社会の、環境意識向上・環境保全を目指して活動を行う環境部が設立されました。2012年10月には、第一回目のゴミ拾いイベントが開催されました。このイベントは、Lautoka City Council(ラウトカ市役所)の後援を受けており、使用するゴミ袋やゴム手袋を支給して頂いています。



●Sugar Festival

学校が位置するラウトカには、「Sugar Mill(サウキビ工場)」があり、フィジーで最もサウキビの生産が盛んな町です。工場がオープンする6月から12月は収穫の時期でもあり、ラウトカでは「美」をテーマにイベントが開催され、集まった資金はラウトカの発展やチャリティーの為に使用されます。例年コンテストやイベントに参加していますが、本校の日本人留学生がミスター/ミス・コンテストで「Talent賞」や「準優勝」、「Miss. Personality」に輝いています。また、歌やダンス、ソーラン節などを披露している学生もいます。



Sugar Festival「Talent賞」

申込概要

留学国/学校名

フィジー共和国 /Ba Provincial Free Bird Institute (共学)
Jasper Williams High School (女子校)

留学期間

正規留学

最短1学期(約4か月間)~4年間

- 卒業留学、単位互換留学も可能
- 中学3年生~高校3年生まで参加可能

体験留学(下見留学)

1週間~12週間

入学資格

正規留学

必要条件を満たし、本校選考試験に合格した方

体験留学

正規入学検討時期、学年によって指定あり

※詳細はパンフレットP.26を参照

必要書類

別紙「募集要項/参加までの流れ」をご確認ください。

正規留学

入学願書、申込書類、長期学生ビザ書類、パスポート等

体験留学

申込書類、パスポート等

留学参加のための選考試験

正規留学

提出書類および試験結果によって総合的に合否を決定します。

また、保護者の方の適性試験の受験も必須となります。

英語試験合格ライン(目安)

YEAR 9・10 入学者:英検4級程度

YEAR11・12 入学者:英検3級程度

体験留学

事前に課題などの書類提出をお願いしています。

提出書類の内容によって総合的に参加の可否を決定します。

留学に対する目的意識を重視しています。

また、英語の基礎的な課題も課します。

※内容は年度によって変更の可能性あり

募集人数・募集期間

正規留学

別紙「募集要項/参加までの流れ」をご確認ください。

年4回の選考試験にて募集します。

体験留学

1週間~12週間までの参加が可能です。

(※夏季は原則2週間)

参加は学期中のみとなり、参加定員は約15名程度までです。

ご案内の窓口

●ご出発前まで

東京オフィスがご案内の窓口となります。

留学生活のご案内~ご渡航までの準備をサポートします。

●ご出発後(ご入学後)

現地サポートオフィスがご案内の窓口となります。

各種書類の発行、学期スケジュールや滞在中の

各種お問合せについてご案内します。

※国際通話、メール問い合わせが必須

費用

正規留学

年間:138.7万円~

その他かかる費用(目安)

- 航空券(約20万円~)
- 保険料(約13.2万円~)
- お小遣い(約1万~1.5万/月)
- 長期学生ビザ代金(2.64万円~)

体験留学

2週間:9.1万円~

その他かかる費用(目安)

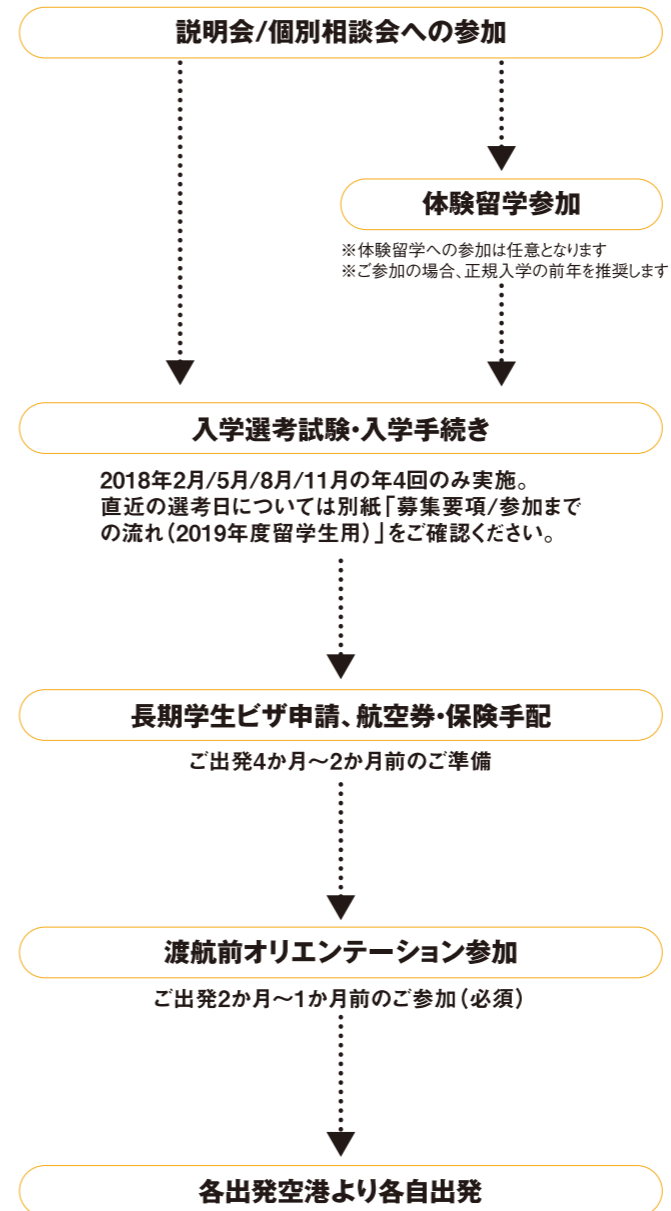
- 航空券(10万円~)
- 保険料(約6.8千円~)
- お小遣い(1万円~)

※2017年11月現在の料金です

※為替相場が著しく変動した場合、その他本校で管理できない自由により、学費は変動する場合があります。



入学までのモデルスケジュール



よくある質問

Q 英語初心者ですが入学できますか。

A 本校の選考試験の合格基準は、YEAR9、10への入学希望の場合は英検4級程度、YEAR11、12への入学希望の場合は英検3級程度です。また、英語試験の他にも書類審査と適性試験があり、適性試験については学生・保護者のみなさまの留学への意欲を問う試験もあります。

Q 1月入学と5月入学。それぞれの違いと特徴はなんですか？

A **1月(1学期入学)**
フィジーの年度始まりから参加可能のため、勉強についていきやすいです。YEAR10(高校1年生)の1学期より留学を希望する場合、日本の中学校の卒業資格や卒業証書が得られるのかを事前に通っている中学校にご確認ください。

5月(2学期入学)
日本の教育システム(3月の学期終了)上、渡航しやすい入学時期と言えます。ただし、1学期分の学習は補講及び自主学習で補う必要があります。

Q 選考試験はいつ、どこで行われますか。

A 基本的には年4回、東京会場と大阪会場で開催します。年度によって異なりますので、詳細のスケジュールは別紙「募集要項/参加までの流れ」をご確認ください。

Q 合格率はどの程度ですか？

A 2017年度は7割~8割程度です。海外生活を送る上で最低限の英語力と留学への高い意欲を問う内容となっていますが、英語試験において基準点に満たない場合は不合格となります。

Q “留学に行けない人”の条件は何かありますか。

A **あります。**

- 過去に飲酒・喫煙等の法令違反をした学生
フィジーでも高校通学者の飲酒・喫煙は固く禁じられています。そのため、過去に飲酒・喫煙を含む法令違反をした学生は入学受付ができません。
- 現在や過去を通して、精神疾患を含む通院や投薬経験がある学生
フィジーは発展途上国のため、日本よりも医療水準は劣ります。そのため、現在の心身の健康状態によって入学受付ができない場合があります。該当する方は必ず担当スタッフまでご相談いただき、個別にご案内しています。

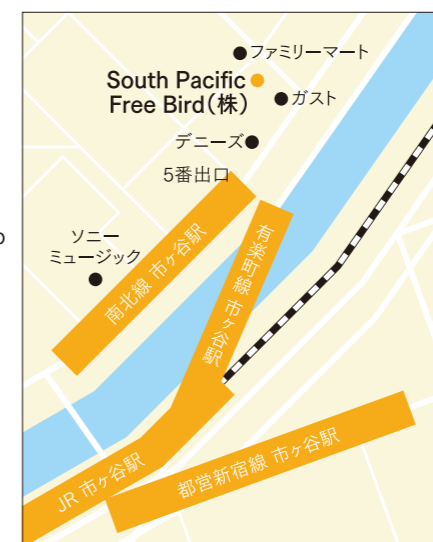
SouthPacificFreeBird(株)

〒162-0843
東京都新宿区市ヶ谷田町2-6-4
エアマンスビル市ヶ谷3F

TEL 03-5227-1185
FAX 03-5227-1158
Mail secondary@southpacificfreebird.co.jp

受付時間 11:00~19:00(土曜定休)

- 地下鉄有楽町線・南北線市ヶ谷駅5番出口より徒歩3分
- 地下鉄新宿線市ヶ谷駅1番出口より徒歩7分
- JR中央線・総武線市ヶ谷駅出口より徒歩7分



ホームページ

フィジー中高留学

検索

<http://www.bpfbi.ac.fj/>

